

Napre

NAKANISHI COMMUNITY PRESS

2

February
2016

Vol.80

学校法人 中西学園

名古屋外国語大学・大学院
名古屋学芸大学・大学院
名古屋学芸大学短期大学部
名古屋ファッション専門学校
名古屋総合デザイン専門学校
名古屋栄養専門学校
名古屋製菓専門学校
菱野幼稚園



CONTENTS

日中大学生討論会	1
東海テレビ文化賞受賞	2
学園創立70周年記念式典・祝賀会	3
国際交流	5
キャリア・サポート	9
私の職場紹介	14
図書館・MLCからのお知らせ	16
オープンキャンパス	19
第20回合同祭	21
外大だより	25
学芸大だより	30
短大だより	38
NSCだより	40
コラム「わが町日進」	46
菱野幼稚園だより	47
マスコミで見る学園各校の出来事	49
法人だより	51
学校法人中西学園70年の歩み	52
学園カレンダー	裏表紙

「日中大学生討論会」を初開催 両国8大学の学生による『日中大学生名古屋宣言』を発表



『日中大学生名古屋宣言』を読み上げる日本代表の名古屋外国語大学 石坂俊男さん、中国代表の北京外国語大学 鄭吉詩さん
名古屋外国語大学から参加した石坂俊男さん

2015年10月17日、ホテル名古屋ガーデンパレスにて、国際シンポジウム「日中大学生討論会 日中関係の未来を共創する—若者の視点から—」（主催：名古屋外国語大学・名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター・日中友好99人委員会）が開催されました。初となった今回の開催は、日中の未来を担う両国の大学生が一堂に会し、日中関係の現状や課題について率直な意見交換を行い、未来に向けた『日中大学生名古屋宣言』を発表することに主眼を置いています。

当日は、名古屋外国語大学 亀山郁夫学長による開会の挨拶でスタート。開催の目的とともに開催実現にご尽力いただいた関係者の方々への感謝が伝えられました。基調講演は、前駐中華人民共和国全権大使を務められた丹羽宇一郎氏が「アジアと世界における日中関係の在り方」をテーマに語っていただきました。その中で、「今日の世界は、民の時代。特に若者の力が政・官を動かす時代。だからこそ、こうした機会が意義深く、今後も継続してもらいたい」との言葉もありました。

メインとなる学生討論会「日中の若者はどう思うか」には、

日中それぞれから計8大学の学生代表が出席。名古屋外国語大学からは、外国語学部中国語学科4年の石坂俊男さんが参加しました。討論会では、まず両国の間に横たわる歴史認識をはじめ、経済力、軍事力などについて、率直な意見を述べ合いました。そして、改善策として、漫画やアニメ、食、スポーツなどによる交流の促進。また、互いの言語を学ぶ若い世代が、両国の架け橋になっていこうと語られました。

討論会後に公表された『日中大学生名古屋宣言』では、日中関係が重要であるという共通認識に至り、様々なレベルでの交流が必要であること。特に若者が果たす役割が大きく、私たちが若い世代の交流拡大に努め、日中関係改善のために寄与することを力強く宣言。会場は拍手でつまれました。

締めくくりとなった閉会の挨拶では、名古屋外国語大学の玉井俊紀副学長から、このシンポジウムを契機に両国の関係改善が進むことを期待したいという旨の話があり、初の開催となった大学生討論会は滞りなく終了しました。



開催の目的を語る亀山郁夫学長



丹羽宇一郎氏による有意義な基調講演



200名以上の参加者で一杯となった会場

井形昭弘学長が東海テレビ文化賞を受賞

井形名古屋学芸大学学長が第47回東海テレビ文化賞を受賞されました。同賞は、社会、文化、学術、産業などの分野で功績があった東海3県在住の個人や団体を顕彰するため、東海テレビ開局10周年の昭和43年(1968年)に制定され、井形学長の「奇病・難病の原因解明と介護保険の導入など多大な社会貢献」に対して顕彰されたものです。表彰式は、2015年11月17日に、東海テレビ本社で行われました。



受賞理由は次のとおりです。

〈奇病・難病の原因解明と、介護保険の導入などで多大な社会貢献〉

東大医局時代の昭和36年に埼玉県戸田市で相次いだ奇病「戸田病」（亜急性脊髄視神経末梢神経症、スモン）の原因が、ウイルス感染ではなく整腸薬キノホルムであることを突き止める。この我が国最大の被害事件となったスモン病の被害者救済は、その後顕発する薬害被害者の救済制度創設のきっかけになった。鹿児島大学時代の昭和63年には、成人T細胞白血病ウイルスが免疫細胞と神経系を侵す難病のHAM（ハム）を発見、この世界的な功績により、野口英世記念医学賞を受賞した。さらに高齢化社会への取り組みのため、愛知県大府市に国立長寿医療センター設立の構想が持ち上がった際、けん引役として平成5年に国立療養所中部病院長に就任、老化のメカニズム研究など老年医学の拠点となる礎を築いた。また、脳死を人の死と認めるかどうかを検討した「臨時脳死及び臓器移植調査会」（脳死臨調）の委員を務めた他、厚生労働省の社会保障審議会老人福祉部会長として、介護保険の仕組みづくりと制度導入に尽力するなど、高齢化社会に備えるための土台作りに多大な貢献をした。

また高齢化社会では“健康寿命”を伸ばすことが大切で、その上で尊厳死が認められなければならないと一石を投げた。平成19年に日本医師会のガイドラインができたが、法制化をめざし活動している。

〈略歴〉

昭和29年	東京大学医学部医学科卒業	平成6年	日本医師会医学賞
昭和40年	東京大学医学部神経内科助手	平成9年	あいち健康の森健康科学総合センター長
昭和46年	鹿児島大学医学部教授 (59年同付属病院長、62年同学長)	平成12年	勲二等旭日重光章
平成元年	野口英世記念医学賞	平成14年	名古屋学芸大学学長
平成4年	紫綬褒章	平成19年	中日文化賞
平成5年	国立中部病院長／武田医学賞	平成24年	第13回日野原重明賞

2015年(平成27年)11月12日(木曜日) 中日新聞

★東海テレビ文化賞決まる
東海テレビ放送(名古屋)は11日、社会文化、学術、産業などの分野で功績があった東海3県在住の個人や団体に贈る「第47回東海テレビ文化賞」の顕彰者三人(団体を含む)を17日に顕彰式を行い、18日午前11時から報道特別番組で紹介する。顕彰者名は次の通り(敬称略)。
名古屋学芸大学学長・井形昭弘(ハセ)氏「奇病、難病の原因解明と介護保険の導入など多大な社会貢献」▽日本舞踊家・西川右近(ニシカワ)氏「長年の日本舞踊の普及、高齢者健康舞踊の考案など意欲的に活動」▽能楽師・玉井博(タニイ)氏「女性能楽師の先駆者、能の発展と地域振興に尽力」▽ポピュラー・アーティスト・市民合唱団「国内外合唱コンクールでの功績と地域文化発展に尽力」

創立70周年の節目を祝う記念式典・祝賀会を開催

1人ひとりの学生を大切に教育と研究の深化に向けて 努力を誓う —記念式典—

2015年12月5日(土)、学校法人中西学園創立70周年記念式典が名古屋東急ホテルで、来賓、招待者、卒業生及び保護者並びに教職員、学生など約300名が出席し、盛大に執り行われました。

式典は、中西克彦理事長による理事長式辞で開式。まず、ご列席の方々に対するお礼の言葉で始まった式辞では、中西泉先生の創立した『すみれ洋裁学院』は女性の地位向上、役割の高まりを予測し、女子教育のための学校として誕生したことが語られました。さらに、今日の学園があるのも、ご列席の皆様のおかげであると感謝の言葉が述べられました。そして、学園の歩みは、新しい時代を予測し、新しいことに挑戦してきた歴史であること。これからも過去の経験を踏まえ、新しいことを大胆に進めていく学園でありたいと、今後への思いを語りました。

来賓、馳浩文部科学大臣、大村秀章愛知県知事、大沼淳日本私立大学協会会長からの祝辞ではお祝いの言葉に加え、学園関係者の教育に対する熱意や努力に敬意を表すること、学園のさらなる発展を祈念することなどが述べられました。

式典に華を添える記念演奏は、日本を拠点に活躍するロシア人ピアニスト、イリーナ・メジャーエワ氏によるピアノソロ。優雅なピアノの音色が会場を包み、式典を華やかに彩りました。

式典の締めくくりに恒川孝司常務理事・法人事務局長から、感謝の言葉とともに、今後も実直に建学の精神に沿って教育を進め、皆様のご支援に応えたいとの謝辞がありました。70周年の節目を祝う式典は、滞りなく閉式の運びとなりました。



式辞 中西克彦理事長



謝辞 恒川孝司常務理事



記念演奏 イリーナ・メジャーエワ氏



歓談のひとつき



会場に華を添えた名古屋外国語大学フィルハーモニー管弦楽団

しめやかに物故者を追悼「創立70周年物故者慰霊祭」を開催

晴天に恵まれた2015年12月12日。覚王山 日泰寺にて、「創立70周年物故者慰霊祭」が執り行われました。今回の慰霊祭は、ここ10年間にご逝去された学園関係者を追悼するための祭儀です。当日は、ご遺族や学園関係者、約300名が参列し、今は亡き方々を偲びました。

慰霊祭は、恒川孝司 常務理事・法人事務局長の開式の辞で始まり、導師入堂、三拝一同合掌礼拝へ、粛々と進行していきました。

追悼の辞では、中西学園を代表し、中西克彦 理事長が慰霊の気持ちを表しました。その中では、「これまでの学園の発展を振り返る時、学園に在職在籍された物故者の方々のご功績、ご努力を改めて思い起こします。物故者の方々は、ご家族にとって大切な方々であるとともに、おのおのの学校、学園全体にとってもかけがえのない方々でした」と語り、物故者の方々への感謝の気持ちを伝えました。

その後、脇導師尊湯尊茶、大導師香語、そして読経が始まりました。厳粛な読経が続く中、まずは中西理事長が焼香へ。引き続き、亀山郁夫 名古屋外国語大学長、井形昭弘 名古屋学芸大学長、恒川常務理事、そしてご遺族、学園関係者が順に焼香へと向かいました。



慰霊の言葉を捧げる 理事長

参列者の方々の焼香、読経が終わり、導師退堂。恒川常務理事による閉会の辞は、参列者の方々へのお礼の言葉で結ばれました。

しめやかに執り行われた「創立70周年物故者慰霊祭」。物故者の方々に対する追悼の気持ちに包まれながら、荘厳な祭儀は滞りなく終了しました。



追悼の意を込めて焼香を行う参列者



厳粛に進む慰霊祭

学園の成長の歴史を振り返り、創立70周年を祝う —祝賀会—

式典終了後、『記念祝賀会』が開催されました。

亀山郁夫名古屋外国語大学長の挨拶で開会。

萩野幸三日進市長の来賓祝辞に続き、学園の歴史を振り返る『70年間の思い出』は、中西富美子名古屋学芸大学短期大学部名誉教授が70年間の足跡を紹介。すみれ洋裁学院開校時、自らポスターを作り、貼って歩いた思い出などのエピソードがユーモアを交えて語られ、会場が笑い声に包まれ和やかな雰囲気が深まりました。

その後、井形昭弘名古屋学芸大学長の乾杯の挨拶。歓談のひとつきでは会場のあちこちで思い出話に花が咲いていました。

歓談の合間には、2014年10月に発足した名古屋外国語大学フィルハーモニー管弦楽団が演奏を披露。亀山学長自らも加わり、祝賀会に華を添えました。



「70年間の思い出」を語る中西富美子名誉教授

協定校一覧

NUFS Partner Institutions

協定校
84大学
2016年1月現在

- イギリス
- バース・スパー大学
 - ミドルセックス大学
 - ウィンチェスター大学
 - セントラル・ランカシャー大学
 - ケント大学
 - ポーツマス大学
 - オックスフォード・ブルックス大学

- アイルランド
- リメリック大学
- ベルギー
- ブリュッセル外国語大学

- 中国
- 北京外国語大学
 - 西安外国語大学
 - 大連外国語大学
 - 天津外国語大学
 - 上海外国語大学
 - 大連大学

- カナダ
- トロント大学
 - モントリオール大学
 - メディソンハットカレッジ
 - アルゴマ大学
 - セルカークカレッジ
 - レスブリッジ大学
 - ユーコンカレッジ

- NEW ノースアイランドカレッジ
NEW セントローレンスカレッジ
NEW オカナガンカレッジ

- フランス
- パリ第7大学
 - トゥールーズ・ミライユ大学
 - アンジェカトリック大学
 - リヨン第3大学
 - ボルドー第3大学
 - グルノーブル第3大学
 - エクス・マルセイユ大学
 - カーン大学
 - マルヌ・ラ・ヴァレー大学
 - パリ第4大学フランス文明コース
 - リヨカトリック大学
 - ニース大学
 - トゥールーズカトリック大学

- オーストラリア
- NEW マッコリー大学
 - サンシャイン・コースト大学
 - グリフィス大学
 - ニューカッスル大学
 - オーストラリアン・カトリック大学
 - サウスオーストラリア大学
 - タスマニア大学
 - アデレード大学

- NEW 文藻外語大学
銘伝大学
国立台湾大学

- 韓国
- 釜山外国語大学校
 - 全州大学校
 - 又松大学

- ベトナム
- ベトナム貿易大学
 - ベトナム国家大学ハノイ外国語大学

- ニュージーランド
- マッセイ大学
 - ワイカト大学

- アメリカ
- NEW サザンオレゴン大学
 - NEW バシフィック大学
 - NEW デンバー大学
 - ハワイ・バシフィック大学
 - プレシア大学
 - カリフォルニア大学リバーサイド校
 - パイクビル大学
 - グランドキャニオン大学
 - モントレー国際大学
 - テネシー大学チャタヌーガ校
 - カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校
 - ノースキャロライナ大学
 - グリーンズボロ校
 - ウェスタン・ワシントン大学
 - クレムソン大学
 - コースタル・キャロライナ大学
 - シンシナチー大学
 - アイオワ大学
 - ジョージア・サザン大学
 - カーソンニューマン大学
 - キャンベルビル大学
 - リンゼイ・ウィルソン大学
 - テキサス大学サンアントニオ校
 - カンサス州立大学
 - ニューメキシコ州立大学
 - エバンスビル大学
 - カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
 - ノースキャロライナ大学シャーロット校
- メキシコ
- グアダハラ自治大学

2015年度2期 海外留学生出発

今学期は224名の学生が海外留学へ出発しました。7月22日には、亀山学長から激励のお言葉をいただきました。学生達は大きな期待と少々不安を胸に、8月から11月にかけてそれぞれの留学先へ旅立ち、現地での留学生生活をスタートしています。



壮行会

2015年度2期出発 留学先国別人数

アメリカ	95名	ニュージーランド	6名
カナダ	57名	メキシコ	1名
イギリス	22名	フランス	14名
アイルランド	2名	中国	5名
オーストラリア	21名	台湾	1名

2015年度出発海外派遣留学生数 397名

1期出発学生と合わせ、今年は約400名の学生が海外へ派遣されました。

海外留学生 <<おいしい話 アメリカ編>>

テキサス大学サンアントニオ校に留学中の、英米語学科・小林龍治さんからのレポートです。

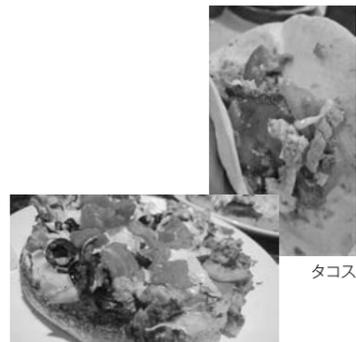
アメリカの料理と言えば、ハンバーガーやピッツァなどのファストフードや、南部のソウルフードのイメージでしょう。私は、ディーブディッシュピッツァという分厚いピッツァがお気に入りです。

しかし、私が居るテキサスはメキシコとの国境の州であり、メキシコ料理が主流です。メキシコ料理をテキサス風にアレンジした料理「テックスメックス」のレストランが沢山あり、とても美味しく、メキシコの影響が強いテキサス・サンアントニオの特色を、料理から感じることができます。

料理は、その地域を知ることのできる素晴らしいものだと思います。(英米語学科2年 小林龍治)



バドミントン大会にて



ディーブディッシュピッツァ

タコス

2015ロシアミッション青年交流事業

【8/22~8/28日本国内各地、9/6~9/12モスクワ・ペテルブルグ】に本学代表として参加した、山本捺未さんによるレポートです。

ロシアという国をもっとたくさんの人に知ってもらいたい。これは、私がロシアミッションに参加して一番強く思ったことです。私はこの事業に参加するまで、ロシアについての知識がほとんどありませんでした。しかし、ロシア人学生招聘、日本人学生派遣の二つの事業を通し、ロシアの人々と交流することによって、少しですがロシアの文化、歴史などについて知ることができました。今回私が経験したことを周りに積極的に発信し、人々がロシアに興味を持つきっかけになったらと思います。また、今後もロシアの友人と交流を続け、さらなる信頼関係を築いていきたいです。

(国際ビジネス学科3年 山本捺未)



大阪城前にて



モスクワ大学ISSA前にて

One Young World 2015 in Bangkok

【次世代を担う若者による国際会議、11/18~11/21 バンコク】に本学代表として参加した、相崎実紗さんによるレポートです。

フランスで起きた同時多発テロ、もう他人事では無いと感じた方が多かったのではないのでしょうか。今回のサミットで気付いたのは、190カ国以上の代表者が誰もがテロについていかに対処するべきなのか議論していた事です。テロだけでは無く地球温暖化や貧困を含め世界の直面する多くの問題が世界規模の団結を必要としています。私たちのような先進国の人間は問題を作っている当事者とも言えます。そして解決する義務がある。まずは他人事と思わずに考える事、言語だけでなくその背景にある文化を学んでいく事で世界に興味を持つ事は第一歩として大きな前進である、と今回強く感じました。

(英米語学科4年 相崎実紗)



バンコク各地で見られたOYWの広告 日本代表団との記念撮影

RECORD OF VISITORS

来訪日	機関名	来訪者名
6月26日	グリフィス大学 (オーストラリア)	レベッカ・コートツェン氏
7月23日	リール第3大学 (フランス)	リチャード・デイヴィス氏
10月13日・14日	デイズニー国際カレッジ (アメリカ)	イヴェット・ノーザン氏
10月13日・14日	カリフォルニア大学リバーサイド校	マイケル・クルス氏
10月14日	オカナガン大学 (カナダ)	ジム・ハミルトン氏、ラッセル・ボリス氏
10月20日	ノーサンブリア大学 (イギリス)	アレハンドラ・ピセンシオ氏
10月27日	デンバー大学 (アメリカ)	ルーク・ボードワン氏
11月4日	バシフィック大学 (アメリカ)	レスリー・ハリック氏、ステイブン・ブラッグ氏
11月5日	サンノゼ州立大学 (アメリカ)	ゲイル・ルー氏
11月9日	アルゴマ大学 (カナダ)	ジョアンヌ・エルビー氏
11月9日	セントローレンス大学 (カナダ)	セサー・バルブエナ氏
11月10日	サザンオレゴン大学 (アメリカ)	メアリー・ガーデナー氏
11月11日	トロント大学 (カナダ)	クリストファー・チップマン氏
11月12日	ノースアイランドカレッジ (カナダ)	ケーシー・マティス氏
11月17日	セルカーク大学 (カナダ)	シャナ・ラブラー氏
11月20日	セントラルランカシャー大学 (イギリス)	天野貴子氏
12月4日	カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	フランシスコ・ゴンザレス氏

FALL SEMESTER 2015

受入れ留学生

世界19か国・地域から117名の留学生

NUFSには、交換留学生の99名と大学院・学部の正規課程留学生18名の計117名の外国人留学生在籍し、日本語・日本文化、国際ビジネスを学んでいます。(2015年12月現在)

アメリカ	31人	ベルギー	3人	チリ	1人
中国	22人	カナダ	2人	インドネシア	1人
オーストラリア	15人	ポーランド	2人	ポルトガル	1人
イギリス	13人	スウェーデン	1人	キプロス	1人
フランス	13人	ブルガリア	1人	イタリア	1人
台湾	4人	ベトナム	1人		
韓国	3人	フィリピン	1人		

留学生の作品

こういうことにも挑戦しています!



作陶



習字



生け花

日本語教育センター

日本語教育センターでは、留学生が日本の伝統文化を実際に体験できるよう「日本文化実習」を実施しています。今年8月から12月にかけて開講された文化実習を紹介します。



そば打ち体験



五平餅づくり体験



坐禅体験



産業技術記念館見学



常滑市散策



茶道体験



東山閣(京都・奈良研修旅行)



防災体験

Hello NUFS!

協定校からの留学生として、日本語教育センターで勉強しているニコラス J. マッキューワンさんが、出身大学の紹介をしてくれました。



みなさん、こんにちは！オーストラリアのグリフィス大学から来たニックです。

グリフィス大学は、オーストラリアのクィンズランド州のプリズベンにあります。キャンパスは5個あり、経済学部や法学部や教育学部や言語学部などがあって、勉強できることが多いと思います。

私のキャンパスの名前はネーソンという名前で、森の中にあります。だから、空気が澄んでおり気持ちよく、とてもいい大学だと思います。また、クラブやサークルなどがいっぱいあります。最近グリフィス大学の言語学部がAustralian Financial Reviewから賞を与えられました。

オーストラリアの学び方は日本と違うので、色々な勉強方法を体験できるはずですよ。是非プリズベンに来たらこの大学に来てみてください。お待ちしております。(Nicholas J. McEwan)



*写真提供は、現在留学中の国際ビジネス学科2年柳生ゆかりさん&国際教養学科3年高山慶成さん。

本学には、休学せず半年から1年間、海外の教育機関で学ぶことのできる海外留学制度があります。この制度を使って学んでいる学生の留学滞在記を掲載します。また海外危機管理セミナー開催と提携校からの国際交流担当者の来学についても報告します。

留学報告

メディア造形学部ファッション造形学科 3年 大久保 奈々子さん



フランスのパリにあるアカデミー・インターナショナル・ド・クープ・ド・パリに2015年9月から留学しています。この学校のレディースモデルの9か月間のコースには、3ヶ月間ずつの平面製図、立体裁断、企業研修というカリキュラムが設けており、最初の平面製図の授業が始まってから2ヶ月経ちました。引き方や寸法の測り方、定規の使い方でも日本とは異なるので驚くことばかりですが、すべてが新鮮でやりがいを感じ、日々集中して取り組むことができています。クラスの生徒は世界の各国から集まり、フランス語以外にも様々な言語が飛び交っています。休憩時間やランチタイムにはそれぞれの文化の違いについて話したりするなど、パターンの技術のほかにより多くの知識が増えました。それぞれ見方や

考え方が違うため、質問する内容も違い、とても刺激的です。休日はできるだけ外に出て、1日も無駄にしないように過ごしています。パリの町並みはとても綺麗で、どこを写真におさめても絵になるので散歩を楽しんだり、美術館や写真展に足を運び、芸術に触れて感性を磨いたりするなど、たくさんものを見て吸収しています。私は学生寮に住んでいるため、寮の人と一緒にハイキングに行ったり、ほかに語学向上を兼ねてイベントに参加して、人脈を作ったりできるだけ人と話し視野が広がるように積極的に行動しています。この留学で自信を持って帰国できるように、今後も勉学に励みより多くのことを学べるように活動していきたいと思っています。(2015年11月10日報告)

海外危機管理セミナーを開催

名古屋学芸大学では毎年、学外から専門家をお招きして、教職員向けに海外危機管理セミナーを開催しています。本年度は9月3日(木)に日本アイラック株式会社の山下寿人様を講師にお招きして、最近のイスラム国や新型感染症の危機について説明を受けました。今回、本学の海外研修担当教職員23名が参加し、真剣に耳を傾けました。日本アイラックは、本学及び名古屋外国語大学が危機管理サービスについて契約をしている会社です。



英国ボーンマス芸術大学より国際交流担当者が来学

10月26日、英国ボーンマス芸術大学より国際交流を担当されているChizu Frankishさんが来学されました。ボーンマス芸大には、過去に本学から合計3名が留学しています。また2013年11月には、国際交流協定を締結しています。2014年9月から1年間、同大に留学したメディア造形学部ファッション造形学科4年の小山友梨子さんも会合に同席しました。彼女はChizu Frankishさんに現地でお世話になり、今回の来学では、留学時の話題で、会話が盛り上がりました。日本人が現地の大学で学ぶ場合、多くの方のサポートを得ているわけです。ボーンマス芸大は、ロンドンの南西部沿岸にあり、ファッション、映像、デザイン等の学科があります。



名古屋外国語大学

2015年度(4年次生)就職状況

▶ 各業界ともさらに充実!

2015年度は、採用日程の大幅な変更があり、一部で不安視もされましたが、求人状況は全体的に好調で、1月現在、内定率は昨年と遜色ない水準にきています。エアライン業界では、客室乗務職をはじめ今年度も多くの(65名)内定実績となり、旅行、ホテルメーカー等、業界を代表する企業からも内定が出ており、充実度はさらに高まっています。

おもな内定先企業(2016年1月現在)

航空	●日本航空 ●全日本空輸 ●ジェイエア ●JALスカイ ●JALスカイ大阪 ●Kスカイ ●ドリームスカイ名古屋 ●ANAエアポートサービス ●ANA中部空港 ●ANA関西空港 ●中部国際空港旅客サービス 他	商業・アパレル	●興和 ●第一実業 ●伯東 ●東陽 ●三菱商事テクノス ●岡谷鋼機 ●豊通マシナリー ●日通商事 ●森村商事 ●資生堂ジャパン ●そごう・西武 ●ユニー ●瀧定名古屋 ●ファーストリテイリング(ユニクロ) ●八木兵 ●丹羽幸 ●ルイ・ヴィトン・ジャパン ●アディダスジャパン ●サマンサタバサジャパンリミテッド ●青山商事 他
旅行	●JTB東海 ●JTBワールドパッケージ ●近畿日本ツーリスト ●ジェイアール東海ツアー ●農協観光 ●エイチ・アイ・エス ●名鉄観光サービス ●クラブツーリズム ●阪急阪神ビジネスホテル ●トヨタツーリストインターナショナル 他	金融・保険	●三菱東京UFJ銀行 ●三井住友信託銀行 ●ゆうちょ銀行 ●大垣共立銀行 ●百五銀行 ●岡崎信金 ●豊田信金 ●瀬戸信金 ●中日信金 ●半田信金 ●大垣信金 ●野村證券 ●岡三証券 ●東海東京証券 ●みずほ証券 ●東京海上日動火災保険 ●あいおいニッセイ同和損害保険 ●第一生命保険 他
運輸	●日本通運 ●フジトランスコーポレーション ●東陽倉庫 ●名港海運 ●伊勢湾海運 ●名港海運 ●愛知海運 ●キムラユニティ ●福山通運 ●センコー ●山九 ●東日本旅客鉄道(JR東日本) ●中日本高速道路(NEXCO中日本) 他	サービス	●日本郵便 ●イーオン ●ECC ●GABA ●平安閣 ●ベストプライダル ●高見 ●平安閣 ●テンプスタッフ・ピープル ●プラス ●プライズワード ●テイクアンドグヴ・ニース 他
ホテル	●ジェイアール東海ホテルズ(マリオットアソシア) ●名古屋ヒルトン ●ナゴヤキャッスル ●ホテルグランコート名古屋 ●名鉄グランドホテル ●ミリアルリゾートホテル ●相鉄ホテル(横浜ベイシェラトン&タワーズ) ●グランピスタホテル&リゾート ●ホテル日航ハウステンボス 他	公務	●財務省(名古屋税関) ●半田市役所 ●長久手市役所 ●各務原市役所 ●瑞浪市役所 ●警視庁 ●愛知県警 ●岐阜県警 他
マスコミ・情報	●NHK大分 ●マイナビ ●中広 ●中日アド企画 ●ひまわりネットワーク ●フレックス ●トランス・コスモス 他	教職	●愛知県 ●三重県 ●滋賀県 ●横浜市各公立学校教諭 ●各私立学校教諭 他
メーカー	●トヨタ自動車 ●デンソー ●アイシン精機 ●アイシン・エイ・ダブリュ ●日本特殊陶業 ●ヤマザキマザック ●DMG森精機 ●新東工業 ●オーエスジー ●ホーユー ●山崎製パン ●アイホン ●エフ・シー・シー ●キーエンス ●トリニティ工業 ●林テレンプ ●ニデック ●オリバー ●矢崎総業 ●豊田バンモップス 他	建築・その他	●一条工務店 ●安藤ハザマ ●三井不動産リアルティ 他

インターンシップ2015夏期研修

▶ インターンシップで、就活スイッチON!

今年度のインターンシップ夏期研修は、受入企業・団体40、参加学生は2年生・3年生合わせて62名と、就職活動日程の変更に大きく左右される事なく、無事実施されました。

研修は4月の説明会にはじまり、事前ガイダンスを重ね、マナー講座、コミュニケーション講座を経て、夏期休暇中の実習に臨みました。そして、実習後の成果報告会では、各々の体験を発表し合い、他の研修先の情報についても皆で共有することができました。また報告会では16名の学生が運営スタッフとして進行係、司会、タイムキーパーを担当しました。最後に、阿部彰彦担当教授が参加学生に修了証書を手渡し、労をねぎらいました。参加した学生達からは、インターンシップ研修を通して、成長できたという声が多く聞けました。

今年度より変更となった、就職活動日程に合わせて、引き続き冬・春の実施にも力を入れている方針です。



おもな研修先(2015年度夏期実績)

- ANA中部空港 ●名古屋エアーターニング ●日本旅行 ●ジェイアール東海ホテルズ ●ナゴヤキャッスル ●ヒルトン名古屋 ●中日新聞社 ●中部日本放送(CBC) ●名古屋テレビ映像 ●東海ラジオ ●SMBC日興証券 ●野村證券 ●損害保険ジャパン日本興亜 ●豊田信用金庫 ●名古屋トヨペット ●出雲殿 ●学情 ●NHK文化センター ●地域活性プランニング ●テンプスタッフ・ピープル ●パソナ 他 全40事業所

インターンシップ参加レポート

研修先: I&S BBDO名古屋支社(広告業) 2015.8.17~8.28



国際ビジネス学科3年 大澤 祐太郎さん

就職活動をするにあたり、これ以上役立つものはありません。企業研究も会社説明会も、外側からしか会社を見ることはできませんが、インターンシップは別です。会社を中から見ることで、業務内容や雰囲気を知ることができ、働く人の仕事への熱意、姿勢までも肌で感じることもできました。

これはインターンシップならではの、今後の就職活動へのモチベーションの高まりにもつながります。自分は何がしたいのか、自分には何が向いているのか。この研修を通し、その判断材料を得ることができました。この経験をもとに納得できる就職をしたいと思っています!

2016年度(3年次生)就職に向けて

▶ 充実の支援体制!

2017年卒業(現3年次生)より、経団連「採用選考に関する指針」に一部変更が加えられ、広報活動(会社説明会など)開始は3月1日と変わらないものの、選考開始を8月から6月に早めることになり、全体として前年よりも活動の早期化が予想されます。本学でも活動開始を前にさまざまな準備に取り組んでいます。

3年次生就職ガイダンス	2期開始に合わせ、9月から2月まで毎月開催。
業界・仕事理解セミナー	11月から2月まで30以上の企業が来訪。
合宿研修	就活サマー合宿(9月)、直前合宿(2月)、エアライン就活合宿(12月)と、充実のラインナップ。
学内合同説明会	今回、学内2日、学外1日の3回構成としました。
インターンシップ	夏期と冬・春期の年2回実施。またANA総研によるシンガポール空港研修も行いました。
教職員向けセミナー	採用日程変更の経緯と今後の動向について、大手就職情報会社から講師を招き行われました。
業界パネルディスカッション	本学で人気の物流・海運業界6社が一堂に会するユニークなイベント。
OBOG懇親会	今回内容を大幅に拡張、パネルトークとブース形式による二部構成で、27企業からOB・OGが参加しました。



就活準備サマー合宿(2015.9)



OBOG懇親会(2015.12)



業界パネルディスカッション(2015.12)

資格支援講座

▶ 貿易実務検定C級 合格体験レポート

昨年度から開講された貿易実務検定対策講座ですが、今回、講座を受講し、見事検定合格を果たした英米語学科2年 石垣 樹さんに体験を語っていただきました。



業界セミナーで物流業界について知ったのが受講のきっかけです。「物流」はトラックなどでの運送業のイメージがありますが、それだけではなく人とモノをつなぐための様々なプロセス、例えばモノの管理や仕入れの確保などにかかわる重要な業界です。私たちの生活に密接に関わっているのに、それほど知られていない点に興味を持ちました。そこでこの講座を知り、半ば勢いで受講しました。

知識はほぼ皆無で不安でしたが、講座はそれほど難しいものではなく、参考書に沿った内容を先生が説明し、問題を解いてみるというものです。検定試験は例年の過去問とほぼ同じもので、しっかり問題集を繰り返せばそれほど難しいものではないはず。私は序盤にほとんど勉強をしなかったため試験3週間前から過去問をやり続けましたが繰り返せば知識もつき、試験にも合格しました。また講座を録音した音声ファイルを任意にダウンロードできたので復習に役立ち、欠席してしまった場合も焦らず学習できました。

今後は上級の資格も取りたいと考えています。自分の将来に少しでも役立てばと思いこれからも講座を受講していきます。

名古屋学芸大学

1. 2015年度の就職環境と大学に求められる人材育成

2016年卒採用から、経団連「採用選考に関する指針」に基づき、企業等の広報活動開始時期を3月1日以降、採用選考活動開始時期を8月1日以降とし、採用スケジュールが変更となり、新卒採用市場は転換期を迎えました。

一方、ここ数年の良好な景況感から、企業等の新卒採用意欲は年々高まっており、採用時期変更の影響は全体ではほとんどなく、就職内定率はほぼ前年同様の推移となっています。

しかしながら、「質重視」という採用方針に変化はなく、厳しさは依然として継続している様相です。

こうした中で、学生は、就職活動への漠然とした不安や危機感を抱きつつも、いたずらに駆られることなく、「自分のやりたい仕事(職種)が出来る会社」を企業選択のポイントとして挙げるようになってきており、身の丈にあった企業へのアプローチを優先させる傾向も増加しています。

名古屋学芸大学キャリアサポートセンターでは、企業にとって有為な人材であると同時に、働く本人自身も満足する

く社会人生活享受ができるよう、真に社会人基礎力を備えた学生を目指して、人材育成していくことが肝要と考えて、様々な支援を行っています。

2. 名古屋学芸大学 キャリアサポートセンターの年間行事

本学では『人間教育と実学』という見学の精神に基づき、また、上記のような情勢や就職活動開始時期の後ろ倒し(2016年3月卒業予定者から)を踏まえ、各学部・学科での教育カリキュラムの展開に加え、以下のキャリアサポートセンター主催の行事を開催しています。

【社会人基礎力養成プログラム】と【就職活動支援プログラム】の2つのプログラムを柱に構成し、キャリア教育の中心である【就職活動支援プログラム】は、『ステップⅠ』(就活全体像の理解と自己理解)、『ステップⅡ』(就活への目的意識の醸成とモチベーション向上)、『ステップⅢ』(就活の準備・実践)の3つの段階で無理なくステップアップできる内容となっています。

2015年度 CS センター活動計画

活動方針 ①社会人基礎力の着実な養成を図る
②学生の将来を第一に、学生自身による志望進路の早期選定と、志望進路に応じた計画的な就職活動の促進を図る

	対象	時期	実施テーマ(太字:新設)	内容等	
社会人基礎力養成プログラム	全学年	4月	基礎力ガイダンス(1、2年生)	卒業後を見据えた大学での過ごし方 基礎学力テスト(1~2年生必須)・SPI(3年生必須) EQ検査(1年生・3年生必須)	
		5月~	EQスコア向上プログラム	望ましいEQ特性を身に付けるための講習・研修	
		通年	社会人基礎力養成塾(基礎学力向上プログラム)	不得手科目の克服に向けた対策講座など 「eラーニング」スタイルで開講。集中講座も検討。3年生は合宿でも実施。	
		6月	新聞の読み方	日経新聞による新聞の読み方解説、時事問題の基礎と日常生活での学び方	
進路指導	1・2年生	9月	卒業後の進路を考えよう	進路ガイダンス	
		5月	第1回就職ガイダンス	就活スケジュール、心構え	
		6月	第2回就職ガイダンス	SPI3を知ろう(SPI対策講座)	
		6月	第3回就職ガイダンス	業界・企業研究	
		7月	第4回就職ガイダンス	自己分析(映・デはポートフォリオについて)	
		10月	第5回就職ガイダンス	【講義編】エントリーシート、履歴書作成	
		10月	第6回就職ガイダンス	【実践編】エントリーシート、履歴書作成(実際に記載)	
		11月	第7回就職ガイダンス	就活マナー	
		11月	第8回就職ガイダンス	【講義編】面接対策	
		12月	第9回就職ガイダンス	【講義編】グループディスカッション対策	
就職活動支援プログラム	3年生(全員)	12月	第10回就職ガイダンス	求人票の読み方	
		1月	就活直前パワーアップ講座(1)	【確認編】直前! ES & SPI 総まとめ講座	
		1月	就活直前パワーアップ講座(2)	面接に役立つボイストレーニング講座	
		2月	就活直前パワーアップ講座(3)	【実践編】面接対策	
		2月	就活直前パワーアップ講座(4)	【実践編】グループディスカッション対策	
		映・デ	未定	ポートフォリオガイダンス	ポートフォリオの重要性と企業が求める視点
		2月頃	就職活動相談会	個別面談による就活状況の把握と求人情報の提供	
		4年生	4月	サポートガイダンス	就活留意点、遠隔地支援他各種手続き説明等
			9月	就職筆記試験対策 短期集中合宿	筆記試験対策講座
			12/1月	職業適性検査/フォローガイダンス	一般職業興味、適職診断検査
12月	就活の身だしなみ・服装講座		リクルートウェア対策講座		
12月	印象向上メイク講座(女子学生)【講義編】		【講義編】メイク(学科毎に、私服対応等、業種・業態に応じた内容を充実)		
12月	印象向上メイク講座(女子学生)【実践編】		【実践編】メイク(学科毎に、私服対応等、業種・業態に応じた内容を充実)		
3年生(希望者)	2月~		就勝出陣式	CSセンター・リクナビ・マイナビ等による情勢/活動留意点解説	
			就勝直前対策合宿	面接・グループディスカッション対策他	
			特別面接対策講座	個別要望に対応した面接特訓講座	
			グループディスカッション対策講座	個別要望に対応したグループディスカッションの特訓講座	
		職場体験談会	卒業生による就業体験の説明		
		業界セミナー/企業セミナー	業界・業種の特徴と職種内容		
企業説明会	3年生	8・9月他	インターシップ研修		
		11月	内定者懇談会		
		9~1月	公務員採用試験対策講座		
3月	合同企業説明会(学外開催)				
	随時	個別企業説明会			

2015年度就職筆記試験対策トレーニング(SPI編)実施報告

▶ 約9割が中堅企業、約6割が大手・人気企業の採用試験に合格できるレベルに!

昨今の就活において、多くの企業が「筆記試験(SPIや一般常識)を実施しています。目的は企業が求める人材を獲得するためであり、筆記試験で企業が必要とする「基礎能力(言語的理解など)」や「一般常識(時事など)」を持ち合わせているかを判断します。

あわせて、効率的に採用選考を行うために、筆記試験の結果で面接可能人数に絞るという役割(いわゆる“足切り”)もあります。いずれにしても志望企業が筆記試験を課す限り、筆記試験を突破しなければ内定を得ることはできません。そこで、CSセンターではこの現実打ち勝つために、2015年9月に就職筆記対策トレーニング(SPI編)を実施しました。

このトレーニングでは、民間企業(一部公務員)の試験で多用される「SPI」を中心とした筆記試験を突破する

ことを目的として、様々な講座を開講しました。

2015年度は多数の学生(定員180名)が参加できるよう、会場を学内(名古屋外国語大学の校舎)、集中して勉強ができるように授業時間を70分として実施しました。(2014年度はホテルシーパレスリゾートにて一泊二日で、100名定員で開催)

2日間連続の開講としていましたが、台風の影響でやむを得ず日程変更をすることとなりました。

が、結果、参加学生の約9割が中堅企業、約6割が大手・人気企業の採用試験に合格できるレベルに達しました。

2016年度も現2年生を対象として9月に開催を予定していますので、ぜひ参加しましょう!

実施概要

実施日: 2015年9月8日(火)・17日(木)

※当初、9/8~9での実施を予定していたが、台風接近のため9/17へ日程変更

実施場所: 名古屋外国語大学 校舎

参加者: 9/8 164名
9/17 84名
(うち、模擬試験受験者79名)



内容

【1日目】

- 講義1: 常識① 政治・経済・国際・その他(環境・文化など)
 - 講義2: 常識② 一般常識系の数学(割合、方程式文章問題、図形)
 - 講義3: 数学系共通分野①(濃度、速度)
 - 講義4: 数学系共通分野②(二重の割合、料金割引)
- 豪華賞品がもらえる!? 常識クイズ大会

【2日目】

- 講義5: 数学系共通分野③(集合、損益算、仕事算)
 - 講義6: 数学系共通分野④(順列・組合せ・場合の数、確率)
 - 講義7: 数学系共通分野⑤(表の読み取り、清算問題、整数問題)
 - 講義8: SPI 特有分野(推論、分割払い、二語関係)
- SPI 模擬試験

【参加学生の声】

- これから就職筆記試験のための勉強をしていく良い第一歩となった。
- SPIの数学には問題の傾向があることがわかり、苦手分野の対策に役立つ内容だった。
- 2日間とても充実していた。少し力が付いたと思うので、これを機に勉強を進めていきたい。
- やる気に繋がったので、参加して良かった。帰って復習をしたり、もっと勉強したいと思った。
- 授業中は解けるようになった気がしたが、最後の模擬テストで時間内に沢山解くことの難しさを感じたので、継続して取り組みたい。
- 2日間で学力が向上したかは分からないが、少なくとも勉強をしなければいけないという危機感は感じた。
- 常識クイズ大会がとても楽しかった。



私の職場紹介

名古屋学芸大学短期大学部

▶ 1年生(53回生) 対象 必修授業「キャリアデザイン」

短期大学部では多様化する就職活動の対策として「キャリアデザイン」授業を開講しています。

これは、教員の他、キャリアサポートセンターも運営を支援し1年生の後期から2年生前期まで実施しています。

ここ数年、企業での就職試験だけではなく医療機関の採用試験でも多く実施されているパソコンを使用したWEB適性検査や「グループワーク」・「グループディスカッション」と

いった、個人での対策が難しい採用試験に対応していくため、それぞれの専門分野の方々と協力し様々なプログラムに取り組んでいます。

就職活動で必要となる常識やマナーなどの就活スキルを身につけると共に、社会人としてスムーズなスタートを切ることができるよう社会人基礎力の向上を目指したプログラムとなっています。

キャリアデザイン授業「SKYラーニングの使い方」

2014年より名古屋学芸大学短期大学部は、名古屋学芸大学と共用でSKYラーニングを開始しました。

SKYラーニングとは(社会人(S) 基礎力(K) 養成(Y) 塾)の頭文字から名づけられた、基礎学力向上のためのe-ラーニングによる専門教育ツールです。ドリル形式で在学生全員が無料で活用でき、ベーシックコース(初級)、ステップアップコース(中級)、SPIコース(上級)の3つのコースが用意されており、各自の学力により適切な講座を受講することができます。

インターネットに接続されていればPCやiPad、各種スマートフォンでも学習でき、空き時間の活用としても有効です。

最近の就職試験ではパソコンやインターネットを活用した適性検査や一般常識検査等を採用する企業、医療機関が増えています。そのための対策として、担当講師よりSKYラーニングの有効な活用法のアドバイスを受けた後、テストセンター対策の模擬試験にも挑戦しました。問題を解くことに加え、PCテストの出題方法や操作、1問ごとに時間制限を設けられることに戸惑う学生もいましたが、採用試験の本番を前に良い練習の機会となりました。



キャリアデザイン授業「コミュニケーション能力」

新入社員として迎え入れるにあたって採用側が求める能力の1つに「コミュニケーション能力」が挙げられます。コミュニケーションと言っても、学生が思う能力と社会人として求められる能力の間には大きな差があることから株式会社マイナビの担当講師を招き、社会で必要になるコミュニケーションについて講義を受けました。

実際に4人1グループでチームを作り、1人に4枚ずつ与えられる全部で16の情報を整理して答えを導き出すカードゲームを行いました。このゲームにはチームで協力すること、自分の持っている情報を理解すること、情報を的確にチームメンバーに伝えること出された情報を全員で整理していくことが必要になります。

実際に取り組んだ学生からは「チームメンバーで情報を同じように共有することが難しかった」「情報の使い方や出すタイミングを考える事も必要だと感じた」「集中力を保って話し合う事が大切だと感じた」という感想が出ました。

キャリアデザイン授業「女性とキャリア」

長きにわたり医療機関で看護師として勤務され、現在はホスピタルマザー(病院の母)として医療に関わっておられる水野恵理子氏を講師に招き、女性として社会人として仕事を続けた体験をお話いただきました。

社会人の先輩から聞く「100%迷いのない選択であれば、必ず成し遂げられる」という言葉が多くの学生の心に響いたようで、参加した学生からは「迷いのない選択をする為に、今後何をしたいのか真剣に考えたい」という声がかれました。

実際に病院での仕事を体験された人生の先輩から体験談を聞くことで、将来について現実的に考える良い機会になりました。



多種多様な仕事に
取り組めることが魅力です

就職先: 日進市役所 建設経済部都市計画課公園緑地係
中村 祐太さん
名古屋外国語大学現代国際学部国際ビジネス学科 2010年3月卒業

私の主な業務は、日進市内の公園・緑地の整備や維持管理です。遊具の点検や樹木の剪定、除草等を地域の方々や専門業者と協力しながら進めています。市内には200以上の公園・緑地があり、常に良好な状態を維持することは大変ですが、市民の方々が快適に利用している光景を見ると、とてもやりがいを感じます。

また、緑化推進の一環として、吊り籠に花を植え込むハンギングバスケット教室の開催、緑の募金や緑化ポスターの募集を小中学校へ依頼するのも私の担当業務です。他にも市民の方々に里山を親しんでもらうために、里山の整備体験講座や子どもが里山と触れ合えるような講座を定期的に開催するのも私の役目です。



このように、私の担当業務の種類は多岐にわたりますが、市役所は部署によって全く異なる種類の仕事ができることが魅力のひとつです。あらゆる分野の仕事をする事で、様々な知識を得られるだけでなく、適応力を磨くことで自己の成長にも繋がります。私自身もまさか市役所へ入庁し、工事の設計やイベントの進行に携わることとなるとは予想していませんでしたが、自分がこれまで関わることのなかった分野に足を踏み入れることはとても楽しいです。他部署へ異動する度に多くの事柄を一から勉強するのはとても難しいことだと思いますが、今後、異動先で自分ができるようなスキルを身につけていくことができるのか、とても楽しみです。

「俺物語」は「私物語」のはじまりでした

就職先: 株式会社マッドハウス 職種: アニメの制作進行
佐藤 綱介さん
名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科 2014年3月卒業

アニメーション制作会社で「制作進行」に取り組んでいます。

制作進行という仕事は、文字通り、制作全体を円滑に進行させていく仕事です。この1年で「俺物語」「ダイヤのA」を担当して来ました。アニメーション制作という机にかじりついたアニメーターが、日夜、画を描き続けている、というイメージを持たれると思いますが、全く、その通りです。(笑)

ひとつの作品には、プロデューサー、監督、演出、コンテ、背景、動画、撮影、編集、声優、録音等、総合すると常時、約50人以上のスタッフがフル活動しており、それでも足りない緊急事態には海外のスタッフにも応援を要請する場合があります。私の仕事は、この膨大なスタッフの中、総責任者であるプロデューサーの元、一番重要なスケジュールと予算の管理をサポートする事です。ある時は連絡係、宅配便、タクシードライバー等、制作状況に応じて、常に役柄を変え、制作を円滑に進行させて行くという役柄です。言い換えるとスタッフ間を

つなく、コミュニケーションに携わっていると感じています。

監督やスタッフの熱い思いがキチンと隅々まで伝えられた作品は、イキイキとした生命力を感じ、つくづく作品は「生き物」なんだなあと、痛感します。ONAIRに間に合わせる為、昼夜を問わず、ギリギリまで蒸気機関車の様に描き続けるスタッフたちの仕事振りを間近で見ていると、あの「エジプトのピラミッド」も間違いなく「人の手で作られたんだ!」と思い起こさせます。昼夜逆転の寝不足生活も、作品の完成による達成感で吹き飛び、それと共にスタッフとの連帯感も深まって行きます。ONAIRで改めて作品を目にした時の、ジーンとした愛しい思いは、今まで感じた事のない感覚でした。こんな気持ちと全スタッフの思いを100%、テレビの向こうで見ている方々に伝えられる様に、まだまだ「私物語」は続きます。



短期大学での学びを強みに活躍

就職先：中部眼科
坂尾 祐佳さん
名古屋学芸大学短期大学部メディカル秘書コース 2015年3月卒業

私が勤務している中部眼科は、一般眼科診療、日帰り白内障手術、緑内障・硝子体手術、眼瞼手術、レーザー治療等行っており、大学病院や総合病院など大きな施設にも決して引けをとらない、開院10年目の眼科です。当院では最新設備の導入はもとより、医療技術やサービスの向上など、あらゆる側面において常に向上心を持ち、最新の医療を提供できるよう、スタッフ一同努力しています。

私は現在、医師の診察に立ち会い、カルテの処理やお会計のチェックなど、主に診察が円滑に進むように医師の補助をしています。そのため、診察の内容を理解することが求められ、専門知識が必要となり、病名や症状、検査の内容など覚えるのに苦労しています。眼科ではありますが、糖尿病や高血圧など、違う疾病に伴う合併症で眼科を受診している患者さんも多くいるため、単に眼科だけの知識を身につければ良いというわけではなく、身体のしくみや病気を理解している必要があります。

短期大学では、診療報酬請求といった医療事務の専門的な授業だけでなく、身体のしくみを学ぶ授業や臨床医学を学ぶ授業など、様々な病気に関する知識を身に付けることができたため、今の私にとってとても強みになっています。

また、患者さん、医師や看護師、その他のスタッフと関わる機会も多く、言葉遣いやコミュニケーション能力はとても大切です。授業で学んだことはもちろんですが、実習などで実践的なトレーニングができたことで、入社当初から自信をもって接していったのだと実感しています。

現在の仕事内容は、受付や診療報酬請求といった医療事務の仕事というより、医師事務作業補助の仕事に近いと感じています。しかし、学生時代に医療事務だけに絞らず、自ら興味をもち、医師事務作業補助者の資格をとったことや、単位が足りていても、様々な授業を専攻し、たくさんの資格を取得したことで、今の仕事内容にも自信をもって取り組んでいるのだと感じています。幅を狭めず、色々なものに興味を持ち、チャレンジすることはとても大切です。皆さんにも色々なことにチャレンジしてほしいと思います。

ようやく仕事場にも慣れ、少し余裕をもって仕事ができるようになってきました。まだまだ未熟ではありますが、学生時代に学んだことを忘れず、これからも常に向上心を持ち、努力していきたいです。



他職種と連携し、患者さんの状態に細やかに対応

就職先：医療法人 杏園会 熱田リハビリテーション病院栄養科
金塚 加奈さん
名古屋栄養専門学校 2010年3月卒業

祖母が高血圧だったのをきっかけに、好きな食を通して健康作りに貢献したいと栄養士を志望。大学ではなく、実習の多い専門学校を選び、卒業後大学に編入して管理栄養士になりました。病院の栄養士を目指したのは、患者さんと顔を合わせ身近な存在として栄養面のサポートができるから。入職した病院は30代から70代、80代まで患者さんの年齢層は幅広く、特に高齢の患者さんは糖尿病や高血圧など合併症のある方も多いため、制限食にするなど細やかな対応が欠かせま

せん。看護師さんや理学療法士さん・言語聴覚士さんなどと密にコミュニケーションを取り、患者さんの日々の状態を共有するほか、病棟を訪問して食の進み具合を観察して声かけをしたり。カルテもチェックし、食から回復を支援できるように努めています。病棟に献立表を掲示しに行く「今日は何？」など声をかけてくださる方が多く、食事を楽しみにされているのを実感します。期待に応えられるようにさらに頑張っていきたいです。



2015年度に行った企画展やイベント等、図書館およびMLCでの活動をご報告します。

企画展 EX LIBRIS ～「紙の宝石」蔵書票の世界

開催期間：2015年9月21日～10月30日

図書館5階展示ホールにおいて、『EX LIBRIS ～「紙の宝石」蔵書票の世界』と題した展示を行いました。

Ex libris(蔵書票)とは、本の見返し(表紙裏)に貼って本の所有者を示すための小紙片のことで、多くの場合、図と蔵書の持ち主の名前が記載されています。多様な図案が用いられており、銅板、木版、石版などで趣味を凝らして制作されています。

今回の展示の中心は、木版画家である松本英三氏の作品で、それに加え、松本氏が所蔵している他の美術家の手による作品も展示しました。また、実際に蔵書票が貼られている本や東洋で蔵書票の代わりに発達した蔵書印が押された本などの展示も行いました。



消しゴム版画体験教室開催

開催日：2015年10月8日

消しゴムを使ってオリジナルの蔵書票をつくる、「消しゴム版画体験教室」を10月8日(木)に開催しました。蔵書票は木版や銅板などで制作されますが、消しゴムでも手軽に作ることができます。講師は5大学共同図書館の連携校である愛知県立芸術大学で水性木版技法を専門に学んでいる大学院生の廣畑聡美さんが務めてくれました。体験教室では、まず展示ホールの作品を鑑賞しながら作る作品デザインのイメージを膨らまし、その後講師からデザインの選び方や彫り方等の手ほどきを受けました。消しゴム版画は初めてという初心者から経験者まで参加者は様々でしたが、皆さん真剣な表情で取り組んでいました。1時間半という時間の中でデザインを考え、消しゴムを彫って完成させるのは大変だったようですが、「楽しかった」という感想を数多くいただきました。完成作品は「EX LIBRIS」展の一部に加えて、来場した皆さんにも観ていただきました。

図書館ではこれからも学生の皆さんに少しでも本に親しみを持ってもらえるような、楽しいイベントを企画していきますので、ぜひご参加ください。



栞(しおり)のプレゼント

図書館で栞(しおり)をプレゼントしていることをご存知でしょうか。

栞は読みかけの本の間にはさんで目印とする便利なものです。文庫本の中に初めからはさまれていたり、書店の脇に置かれていたりするので、なじみ深く思う人もいるでしょう。語源は、山道で迷わないよう木の枝を折って道しるべとする動作「枝折る(しおる)」で、そこから目印を「枝折(しおり)」と言うようになりました。語源を知ると興味が深まります。

栞には、印象深い一節や季節を感じる言葉、学生さんの読後感想やお勧めコメン



トなど、様々な一文が並んでいます。また、昨秋には清々しい手書きによる百人一首の葉を用意しましたが、活字とはまた別の新鮮さがあり好評でした。この手書き葉から話が進み、百人一首をテーマとした企画展示「秋に恋する」も行いました(百人一首というと正月をイメージしがちですが、恋の歌が半数近くあり、季節では秋が最も多いのです)。中国語学科の西川真子先生と同学科卒業生の水野将規さんには葉作成に当たり大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。



ミニ企画

その1

学生サポーター推薦図書

期間：2015年8月～10月

図書館学生サポーターの企画で、一冊一冊に手作りの葉を添えておすすめ本を選んでくれました。学生目線のおすすめということもあり、貸出中のことが多く大人気でした。



その2

ピエール・ルメートル氏、中村文則氏来学!

期間：2015年11月

11月2日(月)に学内で開催された名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター主催・外国語学部フランス語学科共催イベント「小説とジャンル—純文学とミステリー」に『その女アレックス』で知られる作家ピエール・ルメートル氏と、愛知県出身の芥川賞作家・中村文則氏が来学しました。これに合わせてお二人の小説をまとめて紹介しました。著名で人気作家の本、しかも来学して講演したとあって、こちらも貸出中の状態が続きました。



ボランティア

初の留学生ボランティア!

留学生別科の学生ハリス・メイソンさんが、5月から6月にかけて“図書館でボランティア活動を是非!”ということので、図書館初の留学生ボランティアとして受け入れました。アメリカの大学院で司書の修士を取得し、日本の図書館にとっても興味があったとのこと。カウンター業務、洋書選書などに加え、BOOK PARTYなどの図書館イベントへの参加、そして最後には“DREAM BIG”というテーマで企画展示を行ってくれました。ボランティア活動を終えて“大学卒業後は絶対図書館で働きます”と力強く宣言していたハリスさん。このボランティア経験が将来に生きることを願ってやみません。



「バルカン超特急」上映会

開催日：2015年10月24日

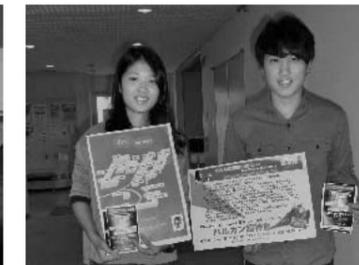
AVホールにて金巻康朗先生(学芸大・映像メディア学科非常勤講師)の解説付で「バルカン超特急」上映会を行いました。本学学生、教職員、卒業生等34名の参加がありました。



解説をする金巻康朗先生



上映会の様子



会場案内をしてくれたMLCサポーターの山田怜加さん(左)と大庭拓真さん(右)

MLC 学習サポート

図書館の視聴覚部門MLCでは英語圏やフランスの留学経験者と中国からの留学生が学生スタッフとしてCD-BOOKを使った発音練習のコツを教えています。学生スタッフのコメントを紹介します。

中村 紅子さん (外大・英米語学科)

私はここで“教える事の難しさ”を学びました。自分では分かっている、相手に分かりやすく伝える事はすごく難しいです。どうしたら上手く教えられるだろうと日々勉強中です。しかし生徒さん達の発音が、上手くなっていくとすごく嬉しいです。また「今日来て良かったです」と言われたとき学生スタッフをやった良かったなと思います。

松井 俊樹さん (外大・英米語学科)

最初は少し緊張していましたが、次第にスムーズに進行できるようになりました。自分が学んできたことを直接後輩に教えることができる機会はなかなかないので、とてもやりがいを感じています。参加者である学生たちの「発音しやすくなった」の言葉はとても励みになります。今後も参加者の力になれるようがんばってまいります。

三浦 恵美さん (外大・国際ビジネス学科)

初めて来た学生がリピーターになってくれた時はとても嬉しかったです。そして発音がどんどん良くなり、感謝された時は本当にやりがいを感じました。自分が学生の役に立てることに嬉しく思っております。一緒にどんどん学生たちと成長したいです。

丹羽 勇斗さん (外大院・フランス語コミュニケーションコース)

学習サポートを始める前は、何をすれば良いかわかりませんでしたが、教えるにつれてどのように発音をしているのか、またそれをどのように教えればよいか学ぶことができました。また、発音サポートを通して多くの1、2年生と知り合うことができました。これから今年度の卒業までより多くの人とフランス語の発音を学んで行くことが目標であり、楽しみでもあります。

齋 森さん (外大院・日本語コミュニケーションコース)

学生スタッフを始めて、1年近くになりました。最初は緊張して自己紹介さえうまくできなかったけど、慣れるとスムーズに対応できるようになりました。参加者がどんどん上手くなっていくのを実感して、非常にやりがいがあると思います。また、中国語の発音や中国に関する事情を紹介すると共に、日本人の考え方もわかるようになり、自分の勉強にもなりました。



左から丹羽勇斗さん、齋森さん、中村紅子さん、松井俊樹さん、三浦恵美さん



2枚のスタンプカードを満杯にした参加者鈴木辰己さん(左)と学生スタッフ三浦さん(右)



鈴木さんが満杯にしたスタンプカード

NUFS OPEN CAMPUS 2015

名古屋外大のすべて Vol.1, Vol.2

留学と就職に強い名古屋外大の魅力を発信!

2015年7月26日(日)、8月23日(日)に名古屋外国語大学においてオープンキャンパス「名古屋外大のすべて Vol.1, 2」を開催しました。7月は昨年とほぼ同様の約2,900人の参加者が来場し、翌8月は昨年を上回る約2,800人を超える参加者の来場で大いに盛り上がりました。7月・8月に行われたオープンキャンパスは、留学イベントをはじめ、模擬授業、学科イベント、入試情報説明会、またキャンパスツアーやクラブ発表など、さまざまなイベントを通して、受験を控えた高校生たちに名古屋外大のすべてを知ってもらうオープンキャンパスになりました。「個別相談」や「ネイティブスピーカーと話そう」のコーナーは行列ができるほどの賑わいでした。エアラインイベントの人気も高く、キャビンアテンダントやグランドスタッフなど航空業界で活躍している卒業生が、実際の仕事内容をはじめ、学生時代をどう過ごしたかなどをトークライブ形式で行い、高校生はもちろん保護者の方々も熱心に耳を傾けていました。

7月26日(日)のオープンキャンパスでは、ZIP-FMのミュージックナビゲーター クリス・グレンさんと成田真美さんによる「RADIO ORBIT from 名古屋外国語大学 OPEN CAMPUS 2015」のラジオ番組の公開生放送を実施しました。番組内ではさまざまな音楽とともにオープンキャンパスのイベントの紹介はもちろん、オープンキャンパスに参加していた大学の在学生の生インタビューもオンエアされました。初の試みではありましたが、オープンキャンパスの参加者の方々からも大変好評でした。

また今回も例年同様エアライン業界研究グループに所属する学生が、実際の離陸から着陸までを再現した「模擬フライト」を実施しました。昨年同様予約の段階で満員となる盛況ぶりでした。さらに8月23日(日)は河合塾の人気講師による入試対策講座「英語」を受験生対象に実施しました。そのほかにも入試・学生生活・留学・就職・教職の個別相談は終日開催され、両日ともに多くの高校生や保護者の方々を訪れました。

企画 PICK UP



「RADIO ORBIT from 名古屋外国語大学 OPEN CAMPUS 2015」公開生放送

オープンキャンパス初の試みでした。

模擬フライト (エアライン業界研究グループ)

今年は法被を着て、お客様をお出迎えしました。



ネイティブスピーカーと話そう

ネイティブスピーカーとのコミュニケーションが楽しめる人気コーナー。参加者は外国人教員や留学生と英会話を楽しみました。



名古屋学芸大学 オープンキャンパス

メディア造形学部オープンキャンパス

管理栄養学部・ヒューマンケア学部オープンキャンパス

名古屋学芸大学のすべて - NUAS Live 2015 -

自分の未来がイメージできる体験型オープンキャンパス、開催!

名古屋学芸大学は、2015年6月14日(日)にメディア造形学部オープンキャンパス、7月19日(日)に管理栄養学部・ヒューマンケア学部オープンキャンパス、8月30日(日)に名古屋学芸大学のすべて -NUAS Live 2015- と、3回のオープンキャンパスを開催しました。

初の試みとして6月と7月のオープンキャンパスは学部ごとで実施を行い、7月に至っては、メディア造形学部対象入試 AO入試I【体験型】の体験授業と同日開催となりました。そして8月は、全学部対象のオープンキャンパスを開催。3日間のイベントで、高校生や保護者を含め約4,300名の方々に参加して頂きました。キャンパスナビゲーターの熱心な協力も支えとなり、各日とも終日賑わっていました。

TOPIC 卒業生によるトークライブ「キャリアイベント」

学科ごとに卒業生を招いた「キャリアイベント」を実施。学生時代のキャンパスライフや現在の仕事内容についてなど、卒業生のリアルな声を聞く事ができました。



TOPIC ランチはオープンキャンパス限定オリジナル弁当を配布!

管理栄養学科の学生がメニュー考案、デザイン学科の学生がパッケージデザイン、名古屋の老舗仕出し料理屋八百彦本店と共同開発したオリジナル弁当を参加者に配布しました。味や栄養バランスはもちろん、見た目にもこだわり、パッケージも楽しく役立つ情報を盛り込みました。



TOPIC 各学部の入試の詳細を説明「入試情報説明会」

管理栄養学部・ヒューマンケア学部を対象とした「特別選抜入試(自己推薦入試)」、メディア造形学部3学科を対象とした「AO入試I【体験型】」「AO入試II【文章理解・表現型】」、そして一般公募推薦について、また今年度よりインターネット出願に完全移行となった入試制度や検定料が割引となる「ネット出願フリーパス」についても詳しく説明しました。

TOPIC 受験生の保護者を対象に開催「保護者説明会」

目まぐるしく変化する大学や受験生の周辺環境、大学受験マーケットなど、保護者として役立つ情報をお伝えしました。また、名古屋学芸大学の学びや就職実績、学納金などについても説明しました。



第20回 合同祭

テーマは「LINK」
みんなの笑顔が
ひとつにつながった2日間



● 秋の爽やかな晴天に恵まれた2015年10月24日・25日。
● 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部の3大学合同で行われる学園祭「第20回合同祭」が盛大に開催されました。
● 第20回を迎えた今年のテーマは「LINK」。LINKには、「結びつけるもの」「絆」「輪」などの意味があります。「合同祭とは地域の方々、来場者、在校生、学校関係者など、さまざまな人々を「結びつける」場である。」と考え、合同祭を通して、いろいろな「輪」を作り、「絆」を

深めていきたいと、合同祭実行委員会は「LINK」をテーマに設定しました。
今年も学科やゼミ、クラブ、実行委員会が、多彩なイベント、展示、発表、模擬店などを企画。2日間で7,000人以上の来場者が訪れ、大変な賑わいをみせました。まさに一人ひとりの心がつながり、そして大きな輪となり、会場を包み込んでいく…。そう実感できる合同祭となりました。

盛り沢山のイベントを通して、日頃の学習成果を発表

- 合同祭は、学生たちの学習成果を多くの人たちに向けて発表する場。そして、研究活動に対する理解を深めていただく機会でもあります。
- 名古屋外国語大学では、日本語学科の展示、中国語学科では、第28回目となる中国語スピーチコンテストを開催。マスコミ業界研究グループ主催のベストアナウンサー

コンテストや、旅行業界研究グループ主催の風景フォトコンテストは、もはや合同祭の恒例イベントとして定着しています。毎年、大変な賑わいをみせるエアライン業界研究グループの模擬フライトは、今年も大人気。年代を問わず多くの人が参加されていました。

ベストアナウンサーコンテスト

最優秀賞に選ばれたのは、外国語学部日本語学科4年の堀愛実さん。見事4連覇達成です。



模擬フライト

チケット発行から搭乗アナウンス、機内アナウンスなど、フライトの雰囲気を楽しめるイベントです。



中国語スピーチコンテスト

弁論・暗誦・朗読の3部門で構成されるコンテスト。在校生だけでなく、高校生も参加しています。



日本語学科展

日本を代表する作家ゆかりのものを展示。日頃の活動も紹介しました。



風景フォトコンテスト

国内、海外の風景写真が展示された会場では、世界の美しさを改めて感じる事ができました。



親子で楽しめるイベントもさらに充実

- 名古屋学芸大学では、毎年好評を博すファッション造形学科のファッションショーをはじめ、デザイン学科の作品展、映像メディア学科のゼミ展を開催。管理栄養学科による身体チェックは、今年も多くの参加者で盛況でした。
- 短期大学部のメディカル秘書コースによる秘書検定チャレンジや医事コンピューターの操作体験、養護理論コースによる養護展や養護活動展は、参加者が楽し

みながら学習内容を理解できるイベントとして賑わいました。

また、子どもケアセンターの主催により、学芸大学3学部合同企画「遊びの交流 in 合同祭」と銘打ち開催。ハッピーハロウィンパーティーや親子でミルク白玉作り、万年カレンダー作りには、地元の親子が多数参加され、会場は子どもたちの元気な笑い声で包まれていました。



デザイン学科作品展

授業での制作物はもちろん、産官学協同プロジェクトやワークショップでの作品も展示されました。



ファッションショー・展示

「呼吸する服」をテーマに学生たちが制作した94点の作品がファッションショーとして披露されました。



養護活動展(2年次)

短期大学部2年次の展示としてストレートネックやスマホ依存、ドライアイなど、身近な健康課題を取り上げ、原因や症状、予防法などを紹介しました。



ハッピーハロウィンパーティー

14組の親子が思い思いの衣装をして参加。シルエットクイズや劇、音楽などで楽しい時間を過ごしました。



身体チェック

栄養の計算方法を学んだり肺活量、骨密度、体組成などを測定。学生研究やサークル活動の紹介もしました。

メディカル秘書コース展示



病院の受付から会計までの流れの中で医療秘書の仕事を紹介しました。

万年カレンダー作り

親子で会話を楽しみながら、世界で一つしかないオリジナルのカレンダーを作りました。



活気で満ちあふれたステージ 模擬店也大盛況

- 大学祭に欠かせないものといえば、ステージでのライブパフォーマンス、そして模擬店です。合同祭では、図書館前にLINE STAGEと名づけたメインステージ、学芸大5号館にDOT STAGEと名づけたイベントステージを設置。今年も多くのクラブが日頃の成果を発表し、ステージ付近では歓声や拍手が湧き上がっていました。
- 今年の模擬店では、チュロスを出したクラブが続出。競い合うように呼び込みの声をかけていました。定番のフランクフルトや団子はもちろん、担々麺や揚げ餃子を出すお店もあり、多彩なラインアップが盛り上がり華を添えていました。
- ステージイベントの終盤を飾ったゲストライブには、ガールズバンド「Caramel」が登場。迫力ある演奏に観

衆もスタンディングで応援していました。そして、いよいよ「OWARAIスペシャルライブ」です。今年、注目度の高いコロコロチキチキベッパーズをはじめ、ニューヨーク、Wエンジンの3組が、大勢の観衆の前で漫才を披露。笑いの渦が巻き起こっていました。

その後、フィナーレに向けて後夜祭がスタート。毎年、来場者の投票で決める人気模擬店コンテスト、BOB (Best of Booth)の結果発表もありました。そして、合同祭恒例のレーザーショーが始まると、美しい光の演出に再び参加者の心はひとつに。LINKというテーマにふさわしく、一人ひとりの心が達成感で結ばれて、第20回合同祭は幕を閉じました。

ワールドリベラルアーツセンター2015年度の活動報告

「世界教養」のコンセプトを研究と地域貢献で結実させたい!

「世界教養」のコンセプトを研究と地域貢献で結実させたい! そんな切なる願いから昨年春に誕生したのが、ワールドリベラルアーツセンターである。本学の教育面での充実、他の私学も羨むほどのレベルに達しつつあることは、すでに一つの事実として自負できるが、研究面での充実はどうか、という、まだまだという印象を否認しない。その事実を端的に物語っているのが、科研費の採択数である。また、教員間の知的交流も十分に活発とはいえない。設立までに少なからず曲折があったが、私自身、迷いはなかった。何よりも知的な華やぎに満ちた空間を作る——。教育と研究の両面での監督責任を負う私として、外大のキャンパス全体にただよう雰囲気や常に知的な華やぎを帯びてほしいと願うのは当然である。世界の諸地域の事情に通じ、海外での経験も豊富な先生方が、たんに教育熱心というだけであっては、惜しい。そこでイベントとジャーナルの発行を軸にしたセンターの発足を考えたのである。副センター長には、中東研究者として知られる国際教養学科の佐藤都喜子先生(イベント担当)、ラテンアメリカ文化研究の泰斗で世界教養学科の野谷文昭先生(ジャーナル「Artes MUNDI」)のお二人にお願いした。佐藤先生の抜群のフットワークの軽さがものを言って、今年1年だけでじつに14のイベント(学科企画の講演会等含む)を実現させることができた。また、夏休み明けには、東館4階にセンタースペースを持つことができた。



発足記念イベント「朗読と音楽による『カラマゾフの兄弟』」 2015.6.23

パイロットイベントとしてまず現代国際学部のもーディ美穂先生に、英語演劇のワークショップを企画してもらい、そして6月には、発足記念の一大イベントとして、「朗読と音楽による『カラマゾフの兄弟』」を企画した。朗読者にお招きした、たかべしげこさんは、元名古屋音楽大学教授で、オ

ペラ演出家としても知られる方。ヴァイオリン伴奏は、ドイツバハブリステン旧メンバー、熊谷祥子さん。この企画を立ち上げるにあたり、公私両面で世話を焼いて下さったのが、元愛知学院大学歯学部教授で、私が日ごろからおつきあいをさせていただいている福井壽男先生。参加者の数約400名、701会場が満員となるほどの盛況ぶり、私としてもじつに誇らしい一日となった。(本誌既報Vo.79 2015.7)

10月17日(土)には、ガーデンパレスホテルを会場に、国際シンポジウム「日中大学生討論会」を開催した。これは、本学の川村範行特任教授の肝いりで実現したもので、基調講演者として元伊藤忠商事会長で元駐中国大使の丹羽宇一郎氏を、中国から4名の大学生、日本側からは、本学の石坂俊男君以下、3人の学生をお招きした。その一部始終は、中日新聞の朝刊に全面で記事となるなど、大変な反響を勝ち得ることができた。近くて遠い隣人、中国との平和的共生こそがわが日本の生きる道と考える私にとっても、本学の歴史にとっても里程となる大切な一日だった。

WLACでは、他にも、フランス語学科との共催による作家平野啓一郎氏の講演会(「生命力の移動 -ボードレールと分人主義-」10月20日)、フランスを代表するミステリー作家ピエール・ルメートル氏と中村文則氏の公開対談(「小説とジャンル -純文学とミステリー-」)、また、今年に入ってから、元朝日新聞記者で中東ジャーナリストとして知られる川上泰徳氏をお招きし、「中東激動と日本の関わり -シリア難民と『イスラム国』の行方-」と題する講演会を開催することができた。WLACは、本学の研究力アップのみならず、何よりも「地方創生」を狙いとして、それに資するさまざまなイベントを企画中であり、新しい名古屋外大をアピールする格好のセンターへと着実に成長を遂げつつある。

ワールドリベラルアーツセンター長 亀山郁夫(学長)



川上泰徳氏の講演 2016.1.9

ワールドリベラルアーツセンター主催・フランス語学科主催

ピエール・ルメートル氏の講演および中村文則氏との公開対談

2015年11月2日(月) 15時00分~16時30分、ワールドリベラルアーツセンター主催、外大フランス語学科共催の公開講演会・対談イベントが行われました。基調講演者は、アンスティテュ・フランセおよびアリアンス・フランセズ愛知フランス協会が「読書の秋2015年」のためにフランスから招聘したフランス人作家ピエール・ルメートル氏で、特別ゲストが愛知県東海市出身で現在東京在住の芥川賞作家中村文則氏でした。

ルメートル氏は、昨年発売された『その女アレックス』が80万部を突破する売れ行きで、日本のミステリー界の話題を独占している作家です。また2013年にフランスで初めて発表した純文学作品『天国でまた会おう』がその年のゴンクール賞を受賞し、日本でも邦訳が出版されたばかりというタイミングでの来日でした。一方、中村氏は最新作『教団X』がベストセラーになっており、また大江健三郎賞を受賞した『掬摸』とデビュー作『銃』が仏訳されており、ルメートル氏にも仏訳でこの2作品を読んでいただいたの公開対談ということになりました。

講演会に先立ち、亀山郁夫学長がフランスから初来日されたルメートル氏への感謝と近作への賛辞を述べられました。また中村氏に対しては「彼はドストエフスキーの子供です」という印象的な紹介がなされ、ドストエフスキーを通じての師弟関係と短期間で世界的な人気を獲得した愛知県出身の若い作家への期待が伺われました。

基調講演で、ルメートル氏はユーモアと真剣さの絶妙なバランスで、自らの文学に対する熱意を語りました。講演のタイトルは「小説とジャンル-純文学とミステリー」というものでした。ルメートル氏によれば小説は近代以降、カテゴリーとして典型例が存在しなくなってきており、そのサブジャンルとして存在したミステリーも、現在ではかつてのような分類(謎解き物、ミステリー、ノワール等)が当てはまらなくなってきているということでした。中村氏の作品はミステリーとノワールの混交であり、犯罪や謎が存在しなくてもミステリーが成り立つことを示し、その意味で典型的なモダンなミステリーだということでした。

この講演を受けて、中村氏が『その女アレックス』『悲しみのイレース』『死のドレスを花嫁に』『天国でまた会おう』を読み込んだ上で、ルメートル氏の創作上の秘訣について質問されました。世界中の人が熱中する小説を次々と発表し続けるこのフランス人作家は、印象的な最初と最後のシーンをまず考えること、脇役に至るまで全ての登場人物を魅力的にすることなど、創作の秘密を明



ピエール・ルメートル氏

かしてくれました。それを受けて、中村さんの方も、アメリカで「ジャパニーズ禅ノワール」と評された、短い描写でシーンを印象的に記述するテクニックなど、自らの創作の秘訣を話してくれました。



中村文則氏

二人の人気作家の会話は大学での1時間半の枠内では終わるはずもなく、第二部として、場所を移して本山のアリアンス・フランセズで6時半から本格的な対談へと引き継がれました。こちらは「私の小説技法」と題され両者の小説技法の秘密を具体的に話すという興味深い内容でした。様々な職業を経験し、55歳でのデビューと遅咲きながら、フランスを始めとして世界中で多くの読者を獲得しているルメートル氏は、「(悲しみのイレース)も発売直後ながら大変な売れ行きだそうです」「サン=テグジュペリの『星の王子様』の次に売れているフランス人作家」と日本で言われて驚いたという逸話も披露しました。

この対談の内容は、『月刊文藝春秋』2016年新年特別号にも掲載され、多くの人に名外大でのイベントの内容が知られることになりました。テレビ番組の取材も入っており、外部から数多くの参加者が訪れ、大成功したイベントでした。

(フランス語学科准教授 伊藤達也)



「生命力の移動—ボードレールと分人主義」

作家・平野啓一郎氏の講演

2015年10月20日(火) 16時40分～18時10分、外大7号館701教室にて、フランス語学科主催ワールドリベラルアーツセンター共催の講演会が開催されました。講演者は平野啓一郎氏で、タイトルは「生命力の移動—ボードレールと分人主義」でした。平野啓一郎氏は、言うまでもなく著名な作家で、京都大学法学部在学中の1998年に文芸誌『新潮』に発表したデビュー作『日蝕』で第120回芥川賞を受賞し、三島由紀夫の再来と大きな話題になりました。平野氏は蒲郡市のお生まれで、愛知県とも深い関わりがあります。

当日大学に到着した平野氏はジーンズに黒いTシャツ、黒いジャケットという装いで、芥川賞受賞時の時に茶髪にピアスと騒がれた時から、17年経った今でも風貌には変わりありません。ロックTシャツのように見えるTシャツは、よく見るとエドガー・アラン・ポーの「大鴉」をモチーフにしたデザインでした。ポーの仏訳者でもあったボードレールへの目配せが感じられました。

講演に先立って亀山郁夫学長が挨拶され、平野氏の長編小説『決壊』について最近書かれたばかりのエッセーを朗読されました。平野氏もこの挨拶を予想していなかったようで、大学を挙げての受け入れに感謝し、講演にも一層熱がこもった様子でした。

講演で平野氏は、ボードレールが1855年に書いた第一回パリ万国博覧会の美術評の総論の部分に現れる「生命力の移動」という概念を取り上げました。平野氏がボードレールに出会ったのは中学高校を過ごした北九州時代に岩波文庫版『悪の華』(鈴木信太郎訳)を購入した時で、京都大学入学後に、当時出ている人文書院版の4巻の全集を古書店で入手し、4巻目に取められた美術論に大変惹かれたということでした。

ボードレールは、万博の美術展会場で、古代ギリシアやローマの文明が滅び、イギリスやフランスで新たな近代文明が開花しているのを目にし、かつては遠方の土地で花開いた美

の「生命力の移動」を語っています。平野氏は昨今の企業の移り変わり、かつて花形だった、ソニーやシャープといった日本を代表する企業が衰退し、アップルやグーグルといった全く別の企業が繁栄しているという現状を、この「生命力の移動」という現象になぞらえました。そのような不安定な時代に、自らの提

唱する「分人」の考え方(詳しくは平野啓一郎著『私とは何か—「個人」から「分人」へ』講談社現代新書を参照してください)、すなわち、「個人」としての一貫性にこだわりすぎるのではなく、他者との関わりを通じて自分を変化させることを肯定的に捉え、様々な人との関わりを通じて変わる自分を受け入れ、自分が自分らしくいられる人とのつながりを大切にすることをアドバイスされました。

聴衆を意識し、平野氏は作家としてよりも人生の先輩として、誠実に学生の皆さんに語りかけていました。ロマン主義や象徴主義のフランス文学にはまだそれほどなじみのない学生、平野さんの作品をまだ読んでいない学生も、難解な純文学の作家と言うイメージを良い意味で裏切る、気さくで飾らない彼の人柄に触れられた時間でした。就職活動や人間関係に悩む時期の学生さん達は、平野さんの「分人」の考え方に大きく共感したことが講演後のアンケートからも伺えました。

平野氏は講演会後の食事会にも参加され、学長を始め多くの教員達と気軽に文学や人生について話をされました。翌日はご友人の横尾忠則氏の高松宮殿下記念世界文化賞の明治記念館での受賞式典に招待されているようで、多忙の中、名古屋まで赴き、大学のために多くの時間を費やして下さった平野氏の、人柄と日常生活に触れられた貴重で濃密な一日でした。

(フランス語学科准教授 伊藤達也)



平野啓一郎氏



亀山学長

名古屋外国語大学出版会の船出

2015年5月、副編集長の行動力豊かな大岩昌子先生、編集長補佐で、北海道大学出版会で実務の経験もおおりの平山陽洋先生とともに、私は漠然とした不安を胸に新幹線で東京に向かった。行き先は東京外国語大学出版会と、東京大学出版会に同居する大学出版部協会。名古屋外国語大学に新設される出版会の活動を始めるに当たって、ぜひともアドバイスをうかがわなければならない相手だ。

亀山郁夫学長から事前に訪問先のメールアドレスをうかがい、学長のネームバリューでアポイントはとれていたとはいえ、訪問先の敷居はとてつもなく高く感じられた。しかし、案ずるよりの言葉通り、(双方の出版会・出版部ともご縁の深い平山先生のおかげもあって) どちらも快く迎えてくれ、話は終始なごやかに進んだ。とはいえ、バラ色の未来が開けたわけではけっしてない。「プロの編集者を迎え、エディターシップをもった組織にする」ことが出版会の発展には不可欠だといったアドバイスとともに、「よい本を出すことも重要だが、物流・在庫管理のようなそれを支える部分も重要だ」といった厳しい現実も教えられ、これから待ち受ける課題の重みを感じつつ私たちは帰路についた。

出張報告の後、さまざまな折衝を経て、「付随事業」として教科書を中心に刊行していくことが決まったほか、編集者には光文社古典新訳文庫で亀山学長の編集を担当されていた川端博さん、出版会の職員には出版に造詣の深い山田麻紀子さんを迎えて、ようやく出版会の態勢が整った。そして、本学の先生方を中心に執筆者を募る募集出版と、出版会がプランを立てる企画出版の二本立てでいよいよ活動がスタートした。

さて、大岩副編集長率いる企画チームが立てて下さった企画は3件: 1) 亀山学長がこれまで書かれてこられた現代日本文学に関するエッセー、そして現代作家等との対談を集めたもの(名古屋外国語大学叢書の第一弾)、2) 高瀬淳一先生によるG7サミットに関するわかりやすいブックレット、3) 複言語プログラム部門による語彙集(2015年度はフランス語と中国語)だったが、みな順調に編集作業も進み、高瀬先生によるブックレット第1号『サミットがわかれば世界が読める』は10月、亀山学長による叢書第1号『世界が終わる夢を見る』は12



早稲田編集長の開会挨拶

月に無事刊行されている。幸いメディアからも好意的に紹介されたが、本出版会としてもこの2つの書籍の刊行を祝って、昨年12月名駅の「ウインクあいち」で盛大な設立記念フェアを催し、亀山学長と蔵田敏明先生のトークショー「日本は奥深い」をはじめ特別講演、ミニトーク、サイン会など盛りだくさんのプログラムで、名古屋外国語大学出版会が市民の方々から幅広く認知されることをめざした。

本年はいよいよ募集出版による教科書、教養書、学術書も刊行される予定で、遅々とした歩みではあっても、出版会は確実に歩を進めていくはずだ。気がつかなかったけれど、名古屋外国語大学出版会はこんな面白い本を出していたのか、と認識していただけるようできるかぎりの努力をつづけていきたい。最後にここまで出版会を支えて下さった多くみなさまに厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

編集長 諫早勇一
(名古屋外国語大学外国語学部世界教養学科教授)



トークショー「日本は奥深い」



刊行書籍展示



亀山学長によるサイン会

桜本亜沙美さん（現代英語学科4年）が優勝

全国外大連合連携事業 第9回学生通訳コンテスト開催

2015年11月28日(土)に名古屋外国語大学主催の「第9回学生通訳コンテスト」が約200名の聴衆を集めて開催されました。コンテストには名古屋外大を含めた12大学からの選抜学生が参加。「グローバル社会における移民問題」のテーマのもと、2名のスピーカー（吉見かおる名古屋外国語大学非常勤講師、ダニエル・ラムリー名古屋外国語大学招聘講師）の発言

- 【優勝】 名古屋外国語大学4年 桜本 亜沙美さん
- 【準優勝】 東京外国語大学4年 高尾 桃子さん
- 【第3位】 大阪大学2年 石橋 奈々さん
- 【The Japan Times 賞】 獨協大学3年 赤羽 咲紀さん



の対談逐次通訳を行いました。本学からは現代英語学科4年の桜本亜沙美さんが代表として出場し、見事優勝しました。コンテストの結果は以下の通りです。



高いレベルの通訳パフォーマンスに称賛の拍手

本年度で9年目を迎えました通訳コンテストも、今回より全国外大連合連携事業になり、学部主催から大学主催となりました。今回は、グローバル社会が瀕する喫緊の課題であります難民や移民問題を捉え、「グローバル社会における移民問題」と題して語って頂き、全国から集った学生による、大変熱の入ったレベルの高い通訳パフォーマンスに多くの聴衆から称賛の拍手が送られました。その中で、我が校の桜本亜沙美さんがトップバッターとして奮闘し、見事、優勝しましたことは大変名誉なことであると共に、次は私もチャレンジと、モチベーションをアップする学生が見受けられたことは、頼もしい限りでした。学生によるコンテスト終了後は、恒例となりました神田外語大学の柴原智幸先生の同時通訳デモンストレーションに会場の皆さんも圧倒されたようでした。又、マッコリー大学の井

上泉先生によって、「オーストラリアにおけるコミュニティー翻訳通訳事情」と題しての講演では、通訳翻訳者としての心構えや方法論等についてのお話を伺うことが出来ました。一昨年度より、名古屋学芸大学のご協力のもと、映像メディア学科の森幸長先生とそのゼミ生の皆さんによって、会場における音響機器の設置から運営までを行って頂きました。さすが、プロの先生やプロを目指す学生さん達によって見事なまでの運営をして頂いたことは、この通訳コンテストをより一層引き立たせてくれました。このようにこのコンテストは、中西学園の姉妹校である名古屋学芸大学のご協力を初めとして、沢山の学内外の先生方や多くのスタッフに支えられています。このことは、社会に飛び立つ学生にとっても、多くの学びの場となった事と確信しています。(現代英語学科教授 浅野輝子)

通訳コンテストは1年生、2年生の時にスタッフとして参加しており、いつか出場したいと思っていました。毎年全国から集った学生の素晴らしいパフォーマンスを目の当たりにし、そのレベルの高さに圧倒されていました。昨年約1年間イギリスに留学し、もっと英語を専門的に身につけたいという気持ちと今後の課題が見えてきました。帰国後、今年の通訳コンテストの予選の知らせを聞いた時から、テーマである移民に関する本やニュースを読んで準備を始めました。通訳法クラスではシャドーイングなどの基礎訓練をし、今年に入ってからは全国外大合同通訳ボランティア育成講座に参加し、通訳ボランティアとして働くなど実践的な練習を積んできました。

予選で選ばれてから特訓が始まり、常にコンテストのことが頭から離れない日々が続きました。プロの通訳さんはずっとこの状態にいるのかと思うと、並大抵の精神力では足りないのだということを実感しました。実際に通訳をするのは難しく、特に日本語や英語特有の言い回しをどう訳すかで困りました。浅野先生が

「聞き手にわかりやすいように通訳することを意識して」と何度もおっしゃっていて、本番でもわかりやすいスピード、表現、声のトーン、目線を心がけました。壇上に上がるまでは、これまでに経験したことがないほど緊張していましたが、始まったらリラックスして楽しもうという気持ちで通訳に臨みました。他大学から来ている学生も非常にレベルが高く、とても良い刺激になりました。

通訳コンテストを終えて、改めて通訳という仕事の大変さ、重要さ、やり甲斐を実感し、自分に自信ができました。これからも努力を怠らず成長し続け、小学生の頃からの夢である通訳になりたいです。

最後になりましたが、私にこのような貴重な機会を与えてくださった浅野先生、励ましてくださった先生方、通訳コンテストの運営を支えて下さったスタッフの皆様から心から感謝申し上げます。

(現代英語学科 4年 桜本 亜沙美)

ヒューマンケア学部 子どもケア学科 幼児保育専攻

ヒューマンケア棟で「世界児童画展」が開催されました

大学における鑑賞教育の促進を目的として、2015年6月28日～8月31日に、ヒューマンケア棟B棟1F・2F、C棟1Fにて「世界児童画展」が開催されました。この展覧会は、国内・海外の子どもの作品を教育的に活用する「世界児童画展ライブラリー貸出プログラム」によって実施され、今回は、日本を含む37ヶ国、3歳から6歳の子どもの作品100点(海外作品80点・国内作品20点)と、幼児保育専攻2年生による鑑賞ガイドが展示されました。期間中には、オープンキャンパスが2度にわたって開催されたこともあり、学内だけではなく学外も含めた多くの方に鑑賞された展覧会となりました。

近年、子どもの表現と鑑賞の活動のなかで感性を育むことが美術教育の課題となっています。今回の展覧会は、保育者や教師を目指す学生が学内で鑑賞活動について考える機会となりました。鑑賞ガイドを制作した幼児保育専攻の学生は、子どもの絵の鑑賞活動について考えるとともに、絵を描いた子どもたちを取り巻く環境についても調べるなど、絵を通して世界の子どもたちとの触れ合いも体験することができました。

「世界児童画展」は、今後も毎年開催される予定です。



【付記】

「世界児童画展」

【主催】公益財団法人 美育文化協会

【後援】外務省・文部科学省・各都道府県教育委員会・読売新聞社・公益社団法人日本美術教育連合・全国造形教育連盟

【協力】べんてる株式会社

管理栄養学部 管理栄養学科 栄養教諭採用試験

栄養教諭採用試験に3名が合格

子供たちの給食を管理するとともに食事の大切さを教える「食育」が重要な業務となる栄養教諭の平成28年度採用試験に、管理栄養学部の4年生が3名合格しました。また既卒者も1名が合格しました。採用試験に際して、ご指導をいただきました教職課程の先生方に深く感謝いたします。

平成28年度採用 栄養教諭志願者数および合格者

採用地	採用人数(名)	受験者数(名)	(倍率)	区分	最終合格者(名)
愛知県	10	95	(9.5)	新卒	1 (補欠合格2) 森川実希
				既卒	1 伊藤 優
名古屋市	7	35	(5.0)	新卒	2 今井愛理 山口ゆか

採用年度別 栄養教諭合格者数

採用年度	新卒(名)	既卒(名)	合計(名)
平成21年度	0	4	4
平成22年度	3	3	6
平成23年度	4	1	5
平成24年度	3	1	4
平成25年度	6	1	7
平成26年度	3	3	6
平成27年度	4	4	8
平成28年度	3	1	4

産学協同「DENSO わくわくの種 展」 グッドデザイン賞を受賞!

株式会社デンソーさんと、名古屋学芸大学 メディア造形学部 デザイン学科との「産学協同プロジェクト」で取り組み、今年の2月、名古屋市中区の栄 地下街で開催いたしました「わくわくの種 展」が、2015年度のグッドデザイン賞を2015年9月25日に受賞。日本全国の企業やプロのデザイナーから寄せられる約3,600件の応募の中から「グッドデザイン賞：宣伝・広告・メディア・コンテンツ部門」にて、見事受賞を果たしました。(株式会社デンソーさんと名古屋学芸大学との合同受賞です)今、デザイン学科が積極的に推進しています「産官学協同」の成果が、社会的に大きく認められ、教員一同たいへんうれしく思い、さらにいっそうの力を入れて行きたいと思っております。



**GOOD DESIGN
AWARD 2015**

2015年2月3日(火)～8日(日) 会期合計で、約3,100名のご来場者数を記録しました。



- 担当教員：梶田 渉 教授・尹 成濟 准教授・柴田 知司 講師・皆川 優介 助手
- 学生 (VCDコース)：石川 理穂・伊藤 愛・今雪 葵・木村 詩織・林 玲奈・松浦 舞・森 千尋・山本 愛佳

第12回CONTACT展

会 期：2015年11月19日(木)～11月21日(土)

入場者数：551名

会 場：名古屋市栄：名古屋デザインセンター内2階アトリウムウ+4階展示場

本展は名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科3年生によるデザイン作品展。[ビジュアルコミュニケーションデザイン]と[スペース・プロダクトデザイン]および[学究ビジュネスデザイン]の作品を展示。これから4年生になり、社会へ出ようとする学生の、就職に向けた活動につながる展覧会として開催。19日(木)は夕刻よりオープニングパーティを行い多くの企業や卒業生が来場、教員や学生との緊密な懇談が開かれ作品の発表や批評会が随所でみられた。

社会に向けて初めて学生が発表する機会と位置付けており、3年間の成果をベースにした課題や自主制作を中心に、ポートフォリオを添えて自己アピールを展開、産官学の共同研究の機会も増え、デザインの地域貢献に積極的に参加する作品もみられた。(デザイン学科/河村暢夫)



「第12回CONTACT展」ポスター



トヨタ車体株式会社開発部門創立70周年ポスター開発

メディア造形学部デザイン学科ではトヨタ車体株式会社開発部門の創立70周年記念ポスターの開発を実施しました。これはトヨタ車体株式会社から開発部門創立70周年を迎えるにあたり本校学生のピュアな目線で、創立70周年に相応しいキャッチフレーズ、およびポスターを作成して欲しいとのご要望のもと、デザイン学科2年生、3年生有志が夏休み期間中に開発を実施したものです。

まずトヨタ車体への理解を深める為、学生によるトヨタ車体開発部門の見学会およびデザイン部とのQ&Aを実施しました。その後『僕達の目は輝いている』を基本コンセプトに11名の志願者がキャッチフレーズとポスターアイデアを創出しました。

8月6日にトヨタ車体デザイン部によるアイデア選択会を実施し、アイデア4案を選択し更にレベルアップ。

8月25日に最終案を提案し、その結果トヨタ車体から下記の優秀案が選ばれ受賞しました。

最優秀作品は、8月31日の記念式典で写真のような大風の形で開発センター中央吹き抜けホールに、またポスターが玄関やエレベーターホールに展示されました。

最優秀賞 デザイン学科3年 飯柴頼、辻村恭利
キャッチフレーズ
「カッコだけじゃない。クルマの未来は僕らが創る」

優秀賞 デザイン学科3年 綿貫佳祐
キャッチフレーズ 「物語を運ぶ。未来を運ぶ。」



入賞 デザイン学科 3年 早川里紗
デザイン学科 2年 鈴木隆之介、濱口陽平

トヨタ車体株式会社のトップの方々から下記のコメントを頂きました。

大変素晴らしいポスターに仕上げていただき感謝します。学生諸君の柔軟な発想や、リクエストへの粘り強い対応に感心しました。最優秀作品の、「クルマの未来は僕らが創る」は全社のキャッチフレーズとして今後使わせていただきます。デザイン学科ではこれらの経験を基に更なるデザイン知識、技術の向上に努めていきたいと思っております。

2015年度3年次制作展『ゼミ展』

2015年10月24日(土)～25日(日)まで、映像メディア学科3年次制作展「ゼミ展」を本学にて開催しました。7つの領域(フォト・映画・TV・サウンド・3DCG・アニメーション・インスタレーション)で学んだ3年次生105名の81作品が発表されました。今年はNUASギャラリーで写真作品の展示、メディア造形学部B棟のラウンジでインスタレーションやアニメーション作品展示を行いました。合同祭と同時開催となり今回で5回目を迎え、多くの卒業生・保護者の皆様にお越しいただく機会



となっております。また、今年もメディア造形学部のプロジェクトとして、ファッション造形学科の大学祭ファッションショー「NUAS COLLECTION」の制作ドキュメンタリーを映像メディア学科1・2年生の有志を中心に制作をしてYouTubeで公開しています。

<https://www.youtube.com/channel/UCq8MyPKWggK3MU54AgKubA>

【大賞】

「空の墓標」安田雄太・佐藤耕大・三上莉彩 映画領域

【最優秀賞】

「言の葉 ～あんにんに届けたい～」岡中萌奈 TV領域
「戦争を見つめた目」森本瑞生 フォト領域

【優秀賞】

「ドラギヤル!!」中島多々楽 サウンド領域
「家族のたまご」松井亜久理・長田侑弥・古田恭大 映画領域
「ハウリング ペンデュラム ウェーヴ」杉山一真 サウンド領域

今年度の映像メディア学科

受賞

【第9回TOHOシネマズ学生映画祭】CM部門グランプリ
学生：榊原英恵(さかきばら・はなえ)

映像メディア学科4年生の榊原英恵(さかきばら・はなえ)さんが、2015年4月19日にTOHOシネマズ新宿で開催された「第9回TOHOシネマズ学生映画祭」において、全166作品の中からCM部門でグランプリを受賞しました。本作品を含む14作品が、2次審査を通過し、映画祭に先立って2月28日～4月17日の間、関東のTOHOシネマズの映画館にて上映されました。受賞作「お母さん元気ですか(55秒)」は、「TOHOシネマズ新宿」という新しい劇場を上京して1年経った女の子が母へ宛てたメールで紹介するというもので、YouTubeでご覧いただけます。



<https://youtu.be/a8xprDCvYJI>



その他の受賞作品

- ・NHK Eテレ「映像の教室」
TECHNE ID AWARD2015 ポイントオブビュー部門
優秀賞「ちょっとよりみち」NAMAHO!
受賞学生：中村茉歩、新沼奈美
- ・第11回ACジャパンCM学生賞
奨励賞「日々の幸せ」
テーマ：幸福度
受賞学生：前田有輝、松田晃平、中村祐太、長谷部大輝

プロジェクト

〈映画プロジェクト〉として制作した『唇はどこ?』(監督：長崎俊一)が、渋谷ユーロスペースと伏見ミリオン座で劇場公開され、第37回PFFびあフィルムフェスティバルの東京・名古屋会場でも特別上映されました。

【主要キャスト】久具巨林(卒業生10期生)、廣瀬菜都美、宮谷達也(演劇集団KIMYO)、鈴木理恵子(映像メディア学科4年生)、山本一樹(演劇集団KIMYO)
【主要スタッフ】監督・脚本・編集：長崎俊一(非常勤講師)、撮影監督：渡部眞(教授)、音楽：鈴木悦久(講師)、整音・MA：森幸長(講師)、グレーディング：齋藤正和(講師)

〈映画プロジェクト〉として制作した『プラネタリウムと冬の月』が、第7回ショートストーリーなごやの映像化作品として、伏見ミリオン座で10月24日(土)～10月30日(金)に劇場公開されました。また、6月5日(金)にはSHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2015の表参道ヒルズSPACE O(オー)会場でも上映されました。

【主要キャスト】鈴木理恵子(映像メディア学科4年生)、廣瀬菜都美、西山諒(劇団パンジャーボンバーズ座長)

【主要スタッフ】監督・脚本・編集：柿沼岳志(講師)、撮影監督：渡部眞(教授)、音楽：鈴木悦久(講師)、録音・MA：森幸長(講師)、グレーディング：齋藤正和(講師)

学科関係の展覧会

スクリーンプリント写真展「彼女たちの行方」	6月16日(火)～6月21日(日)	名古屋市民ギャラリー矢田 第7展示室
大名古屋電腦博覧会2015	7月1日(水)～7月5日(日)	名古屋市民ギャラリー矢田 第1～7展示室
フォト領域4年生共同制作展『CHAMELEON』	7月7日(火)～7月12日(日)	名古屋市民ギャラリー矢田 第2展示室
インスタレーション領域『VMIC展』	7月8日(水)～7月12日(日)	名古屋市民ギャラリー矢田 第3・4・5・6展示室

教員の活動

ワークショップ 日光で受信：鶏卵紙プリントワークショップ	5月2日(土)、10日(日)	名古屋テレビ塔	横山達也(助手)
ワークショップ あらたま父の日実験教室 ～手作り写真でお父さんにありがとうを伝えよう～	6月20日(土)	イオンモール新瑞橋1F セントラルコート	横山達也(助手)
ワークショップ 古典印画技法ワークショップ 太陽で写真プリント!!	8月1日(土)、2日(日)	ANEWAL Gallery(京都)	横山達也(助手)
研究発表 「Interactive Onsite Application of Museums' Art Collections and Image Connectivity」	8月7日(金)	Eighth International Conference on the Inclusive Museum (第8回インクルーシブ・ミュージアム国際会議) National Science Museum, Delhi (インド)	稲垣拓也(助手)
パフォーマンス『wald (ヴァルト)』	8月28日(金)、29日(土)	リンナイ株式会社旧部品センター	演出・映像：伏木啓(講師)、空間設計・施行：井垣理史(デザイン学科講師)
ワークショップ 写真の技法について学ぶワークショップ	9月14日(月)、10月17日(土)	名古屋学芸大学	横山達也(助手)
映像インスタレーション『waltz 2015』	11月12日(木)～15日(日)	中川運河・長良橋北側	総合演出・映像：伏木啓(講師)、空間設計・施行：井垣理史(デザイン学科講師)
ワークショップ 写真の散歩道ワークショップ ～写真の古典印画技法～	11月28日(土)、29日(日)、12月5日(土)、6日(日)	名古屋テレビ塔	横山達也(助手)
ワークショップ 芸術と科学のハーモニー事業 からだ・で・アニメーション みんなサンタ?!	12月6日(日)	ゆめたろうプラザ(愛知県武豊町)	江口詩帆(助手)
みなとアーカイヴ 2015 — "mosaic"	12月8日(火)～12月26日(土)	Minatomachi POTLUCK BUILDING 2F	齋藤正和(講師)、鈴木悦久(講師)、村上将城(講師)
映画『NOTHING PARTS 71』(岐阜おおがきビエンナーレ2015)	12月20日(日)	ソフトピアジャパン・センタービル 3F ソピアホール	監督：仙頭武則(教授)

メディア造形学部 ファッション造形学科

愛知県警からの依頼により、反射材を使用して、交通事故防止を目的としたファッションショーを8月28日に鶴舞公園内の名古屋市公会堂にて実施しました。

また、2014年度・2015年度と2度に渡り『交通安全反射材ファッションショー』を実施した功績に対し、愛知県警本部から感謝状をいただきました。



愛知県内で使用される特殊詐欺撲滅ポスターをファッション造形学科学生がデザインし、12月より県内の警察や区役所等の公的機関・金融機関・パトカーなどにポスターやステッカーがはられています。この功績を評価され、12月14日に愛知県警本部にて感謝状が贈呈されました。



企業3社からの依頼により、産学合同事業に取り組み、11月に都内で開催されたJAPAN CREATIONにて学生の作品が展示されました。



『第22回浜松シティファッションコンペ』グランプリ獲得

2015年12月20日(日)に静岡県浜松市主催のファッションデザインコンテスト最終審査会が開催されました。

最終審査会では、全国応募総数4,240点のデザイン画から選ばれた30点の作品が発表され、本学科2年生の向城美翔さんがグランプリを獲得しました。

【これまでの入選・入賞実績】

2014子ども環境紙芝居 入賞

2015子ども環境紙芝居 入賞

倉敷ファッションフロンティア2015 入選

Re DESIGN PROJECT2015 朝日新聞名古屋本社賞・入賞(2点入賞)

NUAS COLLECTION2015 グランプリ



受賞者 向城美翔さん

受賞作品

2015年度コンテスト入賞・入選実績

2015年12月21日現在

第22回 浜松シティファッションコンペ	グランプリ	向城 美翔		
	入賞	太田 萌子		
第53回 全国ファッションデザインコンテスト	優秀賞	鈴木 良麻		
	入選	安藤 弥生	古田 朋代	
新宿ファッションフィールド2015	新宿区長賞・アッシュ・ペーフランス賞	向城 美晴		
	入選	岩崎 りえ	大舘 蒼	
第90回 装苑賞	第2次審査通過	安藤 弥生	日下 宗隆(助手)	
	入選	鈴木 良麻		
福井ファッショングランプリ2015	入選	栗野 萌子	坂野 文香	古田 朋代
ナゴヤファッションコンテスト2015	入選	古田 朋代	畔柳 あゆ	日下 宗隆(助手)
倉敷ファッションフロンティア2015	ジーンズ&カジュアルウェア部門 奨励特別賞	古田 朋代		
	ユニフォーム部門 奨励特別賞	向城 美翔		
第15回 YKK ファスニングアワード	入選	丸地 把奈		
第38回 HEP FIVE オリジナルファッションコンテスト	入選	成瀬 寛起	青山 めぐみ	
日暮里ファッションデザインコンテスト2015	入選	古田 朋代		
金澤ファッションコンペティション2015	入選	服部 外中	古田 亜由美	
		麻祐 彩絵	待井 彩絵	
第42回 神戸ファッションコンテスト	入選	太田 萌子		
インターカレッジキッズファッションデザインコンテスト KOBE	第1次審査通過	佐々木 優子	青島 里奈	
		伊藤 来夢	岡崎 仁美	
		山本 和枝		
帽子コンテスト イン ナゴヤ 2015	最優秀賞	坂野 文香	仲山 あいこ	根木 紗耶
	入選	飯田 結偉	向城 美翔	多治見 真以
2015 こども環境紙芝居	入賞	市川 真帆		
	入選	栗野 萌子	仲山 あいこ	
アモッサ クリエーション	最優秀賞	坂野 文香		
	優秀賞	栗野 萌子		
	審査員特別賞	河合 由佑美	畔柳 あゆ	
	入賞	市川 真帆	今井 美希	
		西尾 和希	丸地 把奈	
ナゴヤリメイクコンテスト	洋装産業新聞社賞	伊藤 愛友菜		
	YKK賞	今井 美希		
	中日新聞社賞	根木 紗耶		
第19回 全国きものデザインコンクール	金賞	待井 彩絵		
	入選	岩澤 真友梨	川畑 南依	
		佐藤 穂奈美	服部 麻祐	
		濱田 ゆりえ	近藤 彩	
かりゆしテキスタイルコンテスト	入賞	青山 ありあ	佐藤 真実	
		向城 美翔	古田 亜由美	
第26回 ザッカデザイン画コンペティション	入選	吉川 沙希		
Re DESIGN PROJECT 2015	企業賞(朝日新聞名古屋本社賞)	向城 美翔		
	入選	今井 美希	河合 由佑美	
		根木 紗耶	石川 沙希	
		北小路 穂乃	木全 友紀子	
		向城 美翔	佐藤 真実	

以上、21種コンテスト、27名入賞、45名入選

なお、これらのファッション造形学科最新情報は、学科のホームページ <http://media.nuas.ac.jp/fashion/> からご覧いただけます。随時更新しておりますので、ぜひご覧くださいませ。

卒業・修了制作展・発表会

ファッション造形学科 第11回卒業制作発表会

2016年1月23日(土)、ナディアパーク・デザインホールで、第11回卒業制作発表会及び本学と数年来交流のあるドイツ国立プフォルツハイム大学学生作品発表会を開催しました。



映像メディア学科 卒業・修了制作展

2016年1月13日(水)～17日(日)愛知芸術文化センター 愛知県美術館ギャラリー展示室・愛知県芸術劇場小ホールで、卒業・修了制作展を開催しました。



デザイン学科 卒業・修了制作展

2016年1月13日(水)～17日(日)愛知芸術文化センター 愛知県美術館ギャラリー展示室・ラウンジで、卒業・修了制作展を開催しました。

名古屋学芸大学短期大学部メディカル秘書コースの資格支援について

メディカル秘書コースでは、入学当初から医療・福祉分野の医療事務のスペシャリストをめざし、将来医療チームの一員として活躍できる医療秘書、医療事務職としての自覚を高められるようなカリキュラムを実施して参りました。その一つとして挙げられるのがメディカル秘書関連の資格支援です。資格を取得することは、授業で学んだことが理解できているかを計る指針でもあり、学生自身が大学生活を送るうえでの目標でもあります。

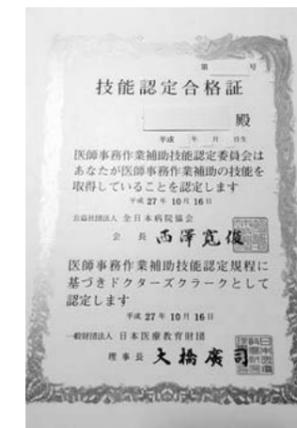
卒業するまでの2年間にチャレンジをしている資格試験について時系列で紹介します。1年次では、『秘書技能検定』『日本語ワープロ検定』『MOS検定(Word/Excel)』など、社会に出て働くうえで必要となるビジネス実務の基礎知識や情報処理技能を高めるための資格です。1年終了時から2年次にかけては、社会的ニーズが高まっている保険医療機関で必要となる医療関係や保険請求事務などの知識に関連する『医療事務技能審査(メディカルクラーク)』、更に上を目指す学生には『診療報酬請求事務能力検定』が、調剤薬局では『調剤事務管理士技能認定』、居宅介護支援センターや福祉施設などでは『ケアクラーク技能認定』等が用意されています。また、昨年度から『医師事務作業補助技能認定(ドクターズクラーク)』の取得も目指しています。医師事務作業補助者とは、医師の事務作業(診断書の作成、処方せんの作成、検査の予約など)をサポートする人材で、2008年から診療報酬への点数加算が認められました。医師の診療補助を行うことで患者さんへの理解や、専門医療の知識も深まります。さらに今年度からは、『メディカルフロントコンシェルジュ技能認定』を取り入れ、医

学系知識だけに留まらず、ホスピタリティマインドの習得にも力を入れています。このように、本コースでは、時代のニーズに合わせた資格取得を目指してきました。

大学の授業を受けることによって、基礎知識を身につけることはできますが、さらに本学では、資格取得のためにさまざまな支援講座が組まれています。また、医療事務に関する資格の合格者には、大学からの資格取得祝い金の支給制度を設けています。

積極的に挑戦し、着実に自分自身のスキルアップをさせた学生(医師事務作業補助技能認定に合格)に勉強法を尋ねると、「授業内容を元に資格支援講座にも臨み、学んだ内容を復習しました。学科対策は自分で何回も違う問題を解きながら、どのような問題がどのように出題されているのか見当をつけました。また同じ問題を何度も解くことで、どの教科書を使い、どこに何が書いてあるかが分かるようになりました。資格試験は時間との勝負だと思います。」という答えが返ってきました。

資格を取得するためには、自己学習が必要不可欠です。支援講座をうまく活用しながら、めざす資格に積極的に挑戦し、一人でも多くの学生が医療現場で活躍してくれることを期待しています。



医師事務作業補助技能認定(ドクターズクラーク)合格証書



メディカル秘書コースの実習室



「メディカル秘書実務」での学習風景

養護教諭コース

2015年度短期大学部での合同祭では、養護教諭コース1年は「養護展」、2年は「養護活動展」を開催しました。2日間で、養護展には300名、養護活動展には400名の方にご来場いただきました。



養護教諭コース2年次の「養護活動展」

「養護展」では、1年次の前期の学びの発表を兼ねて、調べ学習と身体計測を実施、そして「脳の活性化」についての説明と、脳トレーニングの実践を行いました。参加者の方々は、日頃計測する機会のない肺活量や偏平足検査などに興味関心をもって参加してくださいました。また、脳トレーニングでは、パソコン上の画面に映し出される脳トレーニング用の画面を見つめ、微妙に変化する画像を見つけるトレーニングに夢中になっておられました。

「養護活動展」では、2年次の学生が、これまでの学びのまとめとして「機器を使うことでおこる健康問題」をテーマに活動を展開しました。体験コーナーでは、来場された方々が、学生の指導により肩こりや、目の疲れを解消するマッサージなどに熱心に取り組んでおられました。また、アロマで癒されたと喜んで話しながら帰って行かれました。

メディカル秘書コース

今年の合同祭では、メディカル秘書コースの紹介をさまざまな角度から行うため、321、331教室と2つの会場を設けました。321教室では、昨年に引き続き、学生による模擬授業(身体のしくみ、PCによる診療報酬請求書の作成)、秘書検定の問題を試すクイズを実施しました。331教室では、病院の仕組みを理解していただくために、パネル展示、人形、ベッド、会計カウンター等を配置し、要所に学生が待機して、来場者に説明を行いました。

今年の来場者数は昨年より約3割増え、186名でした。来場者が多かった要因は3つあります。第1は、昨年に引き続き養護教諭コースとメディカル秘書コースが共同してスタンプラリーを行ったことです。第2は、2会場の各所に学生が待機し、来場者に話しかけて展示物の説明を行ったことです。第3は、紹介したテーマが来場者の関心を引いたことです。

10数回にわたって話し合いを行い、試行錯誤を重ねた結果、来場者の増加という成果を得ることができました。合同祭に関わった全ての学生が、達成感を味わうことができたとともに、この共同作業の中で様々なことを体験し、将来の糧となる貴重な体験をしてくれたのではないかと思います。



病院の受付から受診、投薬、会計までの流れの説明

名古屋ファッション専門学校

「ATSUSHI NAKASHIMA」コレクションを名古屋パルコで展開

当校を卒業し、パリでのデザイナー経験を経て帰国、現在まで5シーズンにわたりメルセデス・ベンツファッションウィーク東京にて「ATSUSHI NAKASHIMA」ブランドを発表する中島篤さん。今年度より「NFFF2016」ファッションショーの作品製作指導のほか、コレクション発表の際フィッティングのお手伝い、そして名古屋パルコでのポップアップショップの開店を学校挙げてお手伝いさせていただきました。10月12日に東京・渋谷「ヒカリエ」にて開催されたショーで発表された最新

コレクション、2016 SPRING SUMMER COLLECTION「DISCOVERY」を、名古屋パルコ西館1階のインキュベートスペース「SHOW STAGE」で、11月14日から4日間にわたって受注販売しました。店舗の設営、ファッションアドバイザーなど様々な部分で名古屋ファッション専門学校の教員や学生がサポート。ショップには一般のお客様の他、新聞社の取材、ショップを経営している卒業生など多数の方々が来店くださいました。



名古屋ファッション専門学校 創立70周年記念同窓会

11月23日に東急ホテルにて「名古屋ファッション専門学校 創立70周年記念同窓会」を開催しました。理事長先生、中西富美子先生のご挨拶や、卒業生でデザイナーの中島篤さん、スタイリストの森田見嘉さんのトークなどが続き、300名以上の来場者の皆様が終始和やかな雰囲気の中で歓談されました。



体験入学



毎年恒例となったファッションショー



プロカメラマンを講師に迎えてスタジオ撮影体験

学園祭

学園祭恒例の3年生によるファッションショーや全校から応募されるデザイン画コンテストのほか、たません、やきとり、おにぎらず、フリーマーケットなどの模擬店や授業作品展示など今回も盛りだくさんの内容でした。高校生や保護者の皆様、懐かしい卒業生など多くの方にご来場いただきました!



デザイン画コンテスト表彰式



恒例、3年生のファッションショー!

「特別調理実習」—シェフのわざと薬膳料理

栄養計算をした食事を喫食者が残さず食べてこそ健康を保つことができます。栄養士には調理力が基礎スキルとして必須でしょう。本校では2年間の学習を通して、包丁の使い方、だしの取り方から丁寧に指導し、日本料理・中国料理・西洋料理、さらにライフステージの食事、疾病食、フードサービスなど毎週2~3回の調理実習を開講しています。2年生最後の学期には「特別調理実習」を全学生必修で開講し、ホテル総料理長経験者の授業を実施しています。今年から新しくスタッフに加わっていただいた大高恒夫シェフの授業と大島知美先生の薬膳を紹介しします。

大高先生のメニュー①・若鶏の詰め物キャベツ巻き・海老のクルトンサラダ・百合根のスープ。百合根のスープは、普段は市販のブイヨンを使ってしまいがちですが、玉ねぎやセロリなどの野菜を使って一から作り使用することで、普段味わうことの無い本格的なスープをいただくことができました。

大高先生のメニュー②・若鶏のソテーマレンゴ風・ルシアン地方オムレツ・牛蒡のクリームスープ。牛蒡のクリームスープは時間をかけて煮込むことで牛蒡臭さが消えてとても美味しくなりました。スープは「飲むものではなく食べるもの」と教えていただきました。ルシアン地方オムレツでは、フライパンで材料と卵を焼き、手のスナップだけできれいにオムレツを裏返す工程に驚かされました。

フランス料理は難しい、という印象がありますが、先生の料理は調理経験の少ない学生でも作りやすく、家でも作れそうなものを教えてくださいました。作りやすいレシピではあるが、クルトンのパンを型抜きしたり、スープに牛蒡のチップスをのせたりと工夫がたくさんされており、見た目

美しく本格的な料理になります。鶏肉やベーコンなどを焼いた後のうま味を利用してソースを作り上げることで、ソースだけでも美味しいものが出来上がります。

大高恒夫先生はウェスティンナゴヤキャッスル総料理長のおり、2005年に愛知県で開催された日本国際博覧会「愛・地球博」で国内外の賓客をもてなす迎賓館、その料理長を任された先生です。

大島先生薬膳メニュー①「皮膚に潤いを与え、気を高め、血液を補い、寒い冬に備えて丈夫な身体を作る料理」・キラゲとキノコの炒め物・鮭の味噌麹焼き・小豆とはと麦のお粥・里芋のデザート・焙じはと麦、ヨクイニンの薬茶。

大島先生薬膳メニュー②「身体を温め、腎を補い、胃腸の調子を整える料理」・海老蓮根団子・鶏手羽と丸干しの陳皮鍋・甘栗入り玄米粥・黒胡麻プリン・生姜紅茶・枸杞、菊花の薬茶。

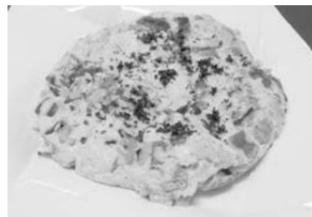
大島先生は高校生中学生のお子さんを育てながら本校に2年間通学して卒業、大学に編入学して管理栄養士国家試験に合格。2013年から本校の教員として栄養指導実習等のご指導をいただいています。ご自身が体調を崩された経験から薬膳の勉強を始めて健康を獲得されました。そうして極められた「薬膳」の知識とスキルを学生に伝えたい、そして悩んでいる学生が薬膳を学ぶことで体質が変わり、元気になってもらいたいという思いで授業を行っていただきました。お店で簡単に手に入る食材一つ一つに様々な効果があることを学び、体質チェックも行い、自分に適している食材を知ることができ、毎日生き活きと生活する知恵を学びました。



大高先生の授業風景



食い入るように見つめる学生



ルシアン地方オムレツ



牛蒡のクリームスープ



⑤ボードを使って説明の大島先生



薬膳メニュー



薬膳メニュー



宮下 哲大さん 名古屋栄養専門学校 食物栄養科
内定先：メーキュー(株)

就職活動をする中で、強く印象に残っていることは、準備をすることの重要性です。私の希望する企業は、他よりも就職試験が5月前半と早く、二年生の授業が始まって早々に、履歴書を書いて提出しなければなりません。一年生の後期から「就職講座」という授業にて、履歴書の書き方を学び、志望動機や自己PRを考える時間がありました。そのため、さほど苦労することなく履歴書を仕上げることができ、就職試験に臨むことができました。また、一年生のときからオープンキャンパスのスタッフをしており、原稿を書いてスピーチする、パワーポイントを使用して自己PRするなど、さまざまな形で発表する機会がありました。就職試験の面接もその延長線と捉えることができたので、緊張することなく臨むことが出来ました。内定をいただいたさいには、学校生活の全てがこのための準備であったと思ひ、喜びを噛み締めた。今からの準備で、結果が変わってくると思ひます。頑張ってください。

就職活動体験記

新實 幸子さん 名古屋栄養専門学校 食物栄養科
内定先：JA 愛知厚生連 海南病院

私は、大学卒業後に名古屋栄養専門学校へ入学しましたが、就職活動は初めてでした。一年生の夏頃から、病院で働きたいと漠然と考えていました。そんな時、授業の一環で「先輩就職体験報告会」が行われ、海南病院で栄養士として働く先輩の話を知りました。この病院は自分に向いていると直感し、海南病院を第一志望にしました。まず、履歴書の作成から始め、先生に何度も添削していただき、納得のいく文章をつくることができました。夏休みに海南病院で5日間の実習をさせていただき、志望動機も迷うことなく書くことができました。求人票が来てからは、作文の練習と筆記試験の対策に力を入れました。作文は先生にギリギリまで添削していただいたので、自信を持って試験に臨むことができました。筆記試験では、栄養学の基本的な問題が出されたので、日頃の勉強の成果が出せたと思ひます。面接はとても緊張しましたが、実習でお世話になっていたので、安心して自分の意思を伝えることができました。就職活動を続ける中、海南病院で働きたいという気持ちがどんどん強くなっていったので、面接で何を聞かれても戸惑うことなく話せたのだと思ひます。実習を通して働く自分をイメージできたこと、栄養士として活躍したいという強い気持ち、そして先生方やまわりの友人のサポートが内定に繋がったと思ひます。ありがとうございました。



鳥居 綾さん 名古屋栄養専門学校 食物栄養科
内定先：(社福)おおぞらにこここ福祉会 てらべサニーサイド保育園

今、就職活動を振り返って、履歴書や面接では、むやみに飾った言葉を使わずに自分の言葉で伝えることが大切だと実感しています。私は、名古屋栄養専門学校を卒業後、どの方面の栄養士として職に就こうか、入学当初はまだ模索していました。しかし、校外実習や授業を受けるにつれて、乳幼児の栄養やアレルギーの分野に興味を持ち、子どもの食育に携われる保育園や幼稚園での栄養士になりたいと思うようになりました。一年生の後期から、就職対策の授業が始まり、少しずつ就職先を探し始める中で、ふと頭に浮かんだのは、自分が通っていた幼稚園です。すぐさまコンタクトを取ると、タイミング良く、4月から保育園を開園するため、栄養士の募集があるというお話を頂きました。その数日後には履歴書を持参で面接を受け、合格を頂きました。急ではありましたが、慌てずすぐに対処出来たのは、余裕を持って早い段階から、先生方に指導をして頂いたからだと思ひます。履歴書作成では、何度も添削して頂くことで、かしこまった文では、相手には伝わりにくく、自分にとっても素直な気持ちが表せないということもわかりました。まさか、自分が通っていた園にご縁があるとは想像もしていなかったもので、驚いてはいますが、これも、早くから行動に移したからだと思ひます。次は、栄養士として、関われることに嬉しく思ひ、やりがいと責任を感じています。



名古屋総合デザイン専門学校

■夏期特別集中講座 サマーソニック会場装飾

サマーソニック会場装飾 8月12日~14日

サマーソニックスタッフ&ライブペインティング 8月15日16日

夏期特別集中講座の目玉、毎年恒例のサマーソニック夏期講習が行われ学生がアーティストとして参加しました。

サマーソニックのフラワーステージ後方のアートテントを6基を手掛けました。今年は例年の倍の数でした。7月の終わりごろから2年生の柴田亜寿美さんを中心に事前にデザインを何度も打ち合わせました。

8月12日正午に会場入り。1日2基づつ仕上げる昨年の倍のスピードでしたがクオリティも高くプロデューサーからの評判も高く、非常に良い作品に仕上がりました。

夜になって絵が見えなくなるまでテントから離れず塗り続ける姿は学校で授業を学ぶ姿とはちがった必死さがあり、テントを仕上げた時の喜びは計り知れないと思えました。

3年目の挑戦で今年が一番タフなチームでした。生徒の引率は日比野先生。生徒の監督役としても立派に努めてくれました。

今年はサマソニのメインゲートの装飾やオアシスエリアのバルーン、既存トイレをまるごとアートで彩るプロジェクトがありリーダーとして左右田先生を筆頭に卒業生で講師の大河内先生、日比野先生、小林晴香さんを含めたチームで会場のアートを手掛けました。

フェス前日には徹夜。そのままライブペイント。36時間も描き続けました。

フェス当日にも乾さん、柴田さん、木村くん、松波さんがアーティストとして巨大グラフィティを担当。他の生徒も会場スタッフとして朝から晩まで作家のサポートをしました。

当日は小林晴香さんがソニックカートのアーティストとしてライブペインティングに参加した事も快挙でした。

学生のアートテントの下で皆が休憩する姿や、皆で仕上げたゲート前で写真を撮る人たちを見て描いたものが使われる喜びを先生、卒業生、生徒で共有出来たことが一番印象に残っています。

サマーソニックの夏期講習ではデザインの現場、音楽フェスの現場を体験するのが目的です。今年の参加者は意識が非常に高く、挑む姿勢はプロそのものでした。

描く喜び、仕上がる喜び、使われる喜びを肌で感じ、モノを作り上げる楽しさを体験した5日間となりました。



■特別賞を受賞!!

本校グラフィックデザイン科2年生の先本大輝君が、CBCテレビ主催「スマイルデーなごや」マンガコンテストで、特別賞を受賞しました。



先本くん

■春と秋の交通安全市民運動でデザイン採用!

「春および秋の交通安全市民運動」で本校グラフィックデザイン科2年生の柴田亜寿美さんの作品が公式ポスターとして採用され名古屋市内のバスと地下鉄全駅に掲出されました。

この作品は、1年生次に取り組んだ広告デザインの授業の課題。デザインコンペに応募したときのもので、このとき最優秀賞をいただきました。

ポスターはキャンペーン期間中駅等でずっと活躍しました。



柴田さん

■れんらくぶくろ デザインコンテストで、奨励賞!

9月25日(金)、名古屋中税務連絡協議会主催「第4回れんらくぶくろ(名古屋市中区の新1年生に贈呈する学校と家庭間を行き来する書類ケース)デザインコンテスト」の第2次審査(公開審査)がプレゼンテーション方式で行われました。

今回デザイン系専門学校3校が参加するこのコンテストは、まず校内審査を経て、さらに第1次審査通過者がこの審査会に臨み、プレゼンテーションを行うものです。

本校からは3名が第2次審査に進出。果敢に課題に挑み、グラフィックデザイン科1年生の藤井佳奈さんが見事、奨励賞に輝きました!



プレゼンの様子

■帽子デザインで受賞!

9月25日(金)、26日(土)名古屋オアシス21「尾張名古屋の職人展」ステージにて全日本帽子協会主宰「第53回全国帽子研究会 帽子コンテスト in NAGOYA」のファッ

ションショーおよび審査がありました。

ここで、本校グラフィックデザイン科1年生の飯田みつきさんの作品「きのこぼうし」が協会会長賞を受賞しました。飯田さんは、本来ファッション校の講座であるデザイン画を、本校のデザインバイキングシステムにより5時限目に受講。一次審査通過後はファッション校の帽子デザイン講座を受講し、自ら帽子を制作しました。

楽しく学んで、見事に結果を出しました。



飯田さん

受賞作品

■交通安全の公式ポスターに、本校の学生作品が、またまた採用!

採用されたのは本校グラフィックデザイン科2年生、宮崎伶菜さんの作品。

ポスターデザイン制作はちょうど一年前の今頃、宮崎さんが1年生のときの作品で、「まだまだ拙くて恥ずかしい」という本人の感想でしたが、それでも傑作にちがいはありませんね。

この作品は来月11月いっぱい、名古屋市内のバス、地下鉄の駅にて掲出されました。



宮崎さん

■2015GIFT TREE AICHI展

本校の学生(主にグラフィックデザイン科2年生)と本校の講師の先生も参加する展覧会が開かれました。

今年愛知では日本最大級の緑のイベント「全国都市緑化あいちフェア」が開催されました。本展は、日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)の愛知地区会員と県内デザイン教育機関の学生が「デザインの力で、都市緑化に光をあてよう!」をミッションに、グラフィックデザイナーが持つ「GIFT」を使って緑あふれるまちづくりを応援するポスター&ポストカード展です。



関連イベント「サンデーデザインスクール」にて作品が紹介

■ポスターグランプリにて多数入賞・入選!

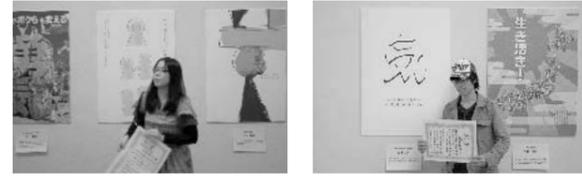
愛知県印刷工業組合等主催の第6回ポスターグランプリにて今回も本校の学生が多数入賞・入選しました。

- 愛知県教育委員会賞 太田 佳保理さん
- 愛知県印刷工業組合理事長賞 木全 和也くん
- 平和紙業(株)賞 山崎 菜七子さん
- (株)小森コーポレーション賞 先本 大輝くん



太田さん

木全くん



山崎さん

先本くん

■来年のイラストカレンダーが完成

本校グラフィックデザイン科2年生の米田佳代さんがイラストを担当したカレンダーが完成しました。

このカレンダーは昨年に引き続き、医療関係のメーカーさんのご依頼で、今年の春先から長期間の制作を経て、やっと完成した力作。

今回は2種類の形式で展開。今年の年末から全国の病院等に配布され使用されます。



米田さん

■ラベルデザイン表彰式

11月19日(木) ポージョレ・ヌーヴォー発売解禁日。ポージョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォー2015 セントレア限定ラベル、ラベルデザイン表彰式がセントレア旅客ターミナルビル4階 イベントプラザ ステージにて行われました。

本校グラフィックデザイン科2年生 横井春菜さんもこれに出席。横井さんの作品は優秀賞を受賞しました。



受賞の様子

■受賞!

connectA Award 2015 Exhibition

東海地区のクリエイターを志す学生の団体 connectA。そのconnectAと中部クリエイターズクラブ(ccc)および国際デザインセンターが共催するデザインコンペティション、展覧会、授賞式が11月28日(土)にありました。

本校グラフィックデザイン科2年生の金井杏莉さんが、ここでccc賞を受賞。この日、授賞式に臨みました。展覧会のテーマは「2020なにしてよう」

受賞した金井さんの作品は抽象的な平面構成で表現されたポスターで審査員であるベテランのグラフィックデザイナーが特に推した作品だそうです。



金井さん

2015年技能五輪ブラジル世界大会銅メダル受賞!

2015年8月ブラジルサンパウロで行われた技能五輪世界大会、洋菓子部門で本校の伊藤美緒さんが銅メダル(第3位)を受賞しました。伊藤さんは2014年の国内大会金メダル(第1位)に続く快挙です。



2015年ドイツパンの世界大会 iba カップ2015で本校卒業生が世界一獲得! 日本人としても初の快挙!

世界各国の代表が集まり競い合うドイツパンのコンテストで、本校卒業生の浅井一浩さん(2004年度卒業)が見事世界一を獲得しました。

浅井さんは東京の有名店で店長を任されながら、コンテストに挑戦し、結果を残しました。卒業してからも最前線で活躍する卒業生が増えてきました。



2015技能五輪全国大会 2大会連続金・銀・銅賞受賞の快挙!!

若い技術者が技術を競い合う技能五輪全国大会が12月に東京で行われ、本校の学生が2年連続、金・銀・銅賞受賞の快挙を達成しました。

技能五輪上位受賞は10年連続の快挙です。



わが町日進

岩崎町・特に竹ノ山周辺のことども

前岩崎城歴史記念館長 田中 義和

Profile

(略歴) 昭和11年生まれ。岩崎城歴史記念館長。長久手市文化財保護審議会会長。元日進市文化財保護審議会会長。著書:『歴史物語 長久手の戦い』『長久手町史本文編(共著)』『豊明・日進・東郷・長久手今昔写真集(共著)』など

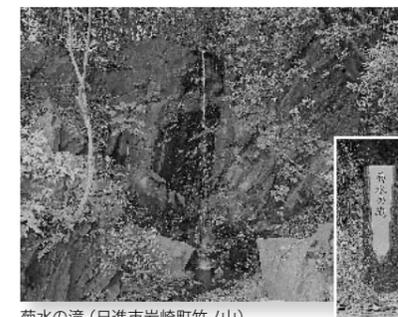
日進のマチがのどかな農村から大都市近郊のベッドタウンと変貌してからも何年かたちました。いや、過去形でいうのは正しくはありません。今なお変貌しつつあると進行形でいうべきでしょう。その中のひとつが名古屋外国語大学・名古屋学芸大学がある岩崎町竹ノ山地区です。今回はこの竹ノ山のごく一部についてお話ししたいと思います。この竹ノ山のタケは植物の竹ではなく、山の峰や尾根を意味する嶽(岳)が地名の語源になったものと考えられます。また、岩崎の地名の由来は、江戸時代に著された「尾張国地名考・岩崎村の条」に「この村のうしろに竹の山とて近辺に比類なき岩山あり、其山の尾崎にある村なれば岩崎と名付なるべし」とあり、これからは岩崎町の地名語源が推測できるかと思えます。この岩崎村は天文21年(1552)10月4日付の「賢秀權那注文」と呼ばれる史料に村名が初見されます。同書には、赤池・梅森・野賀田(野方)・浅田・下津(折戸)・藤嶋・藤枝など日進市域の村名も初見されます。このことから、その頃にはこれらの村々が村として成立していたことがわかります。

竹ノ山という地元の人は「ああ、御嶽山のこと」といい、まず御嶽神社が頭に浮かぶようです。木曾(長野県)の御嶽山に発する御嶽信仰は御嶽講として全国に及びますが、岩崎御嶽山を開いたのは明寛、明心の両行者と言われ、御嶽講祖の夢のお告げ「尾張国愛知郡岩崎村に竹ノ山という霊山あり、この山に御嶽大権現を勧請すべし」により、万延元年(1860)、勧請したものです。

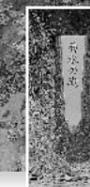
この御嶽山の西南麓にある菊水の滝は蓬州旧勝録(安永8年・1779刊)や尾張名所図会にも紹介された名瀑でした。かつて御嶽山に登拝する信者は白衣をまとい、滝水にうたれて心身を清浄にしたものでした。また、西麓にある弁天池は水あくまで澄んだ、池中央に弁財天が祀られた小島のある池でした。この御嶽山・菊水の滝・弁天池のあたりは大正15年(1926)名古屋新聞が企画した尾張10名所の第1位に選定されたほどの絶景で、戦後もしばらくはその面影が残っていましたが、今は片々でしかその様を見ることができなくなりました。

春日井市の辺りから知多郡北部に連なる尾張東部丘陵には尾張夾炭層という亜炭を含んだ地層がありました。わたしたちは亜炭とは言わず、「岩木」とか「皮木」とか呼んでいましたが、尾張名所図会にも岩木として「岩崎村、岩作村(長久手市)の辺および春日井郡水野山中(瀬戸市)の地下に是を産す(以下略)」と岩

崎の地名があり、「愛知郡誌」(明治22年版)には「岩崎村岩木坑・岩崎村竹ノ山に在り(以下略)」と竹ノ山一帯での亜炭産出を述べています。「岩崎誌」(岩崎誌編纂委員会・昭和60)は岩崎における戦前戦後を通じての主要炭鉱として大藪炭鉱(名古屋学芸大学南・中田青葉学園西辺り)、八代炭鉱(椋山学園女子大学運動場辺り)、東海炭鉱(竹ノ山新五郎池北側辺り)をあげています。



菊水の滝(日進市岩崎町竹ノ山)



採掘の範囲も坑道の長さも広がりも記録が散逸して不明ですが、当時の竹ノ山では亜炭を採掘した後の坑道が陥没したことは時としてあったようです。名古屋学芸大学の前の道路が陥没したという話を聞いたことがあります。現在では地盤強化の技術・工法が進歩したのでしょうか、この類の話は聞かなくなりました。



弁天池(日進市竹の山3丁目)

この竹ノ山を南北に縦断する道路が以前から県道瀬戸大府東海線としてあったわけではありません。それどころか、竹ノ山一帯の明治・大正期の地図を見ても道らしいものは見当たらないのです。古老の話によれば、亜炭搬出のための私道があったようですから、杣(そま)道もあったかもしれません。

大府より北上してきた旧来の瀬戸大府線は、いまでも大府街道という人がいます

が、岩崎交差点から右折し、岩藤新田(現岩藤町)から北新田(現北新町)経由で長久手の岩作へと結ばれていました。しかし、岩作、瀬戸方面へ向かうのにこのルートでは不便であるため、昭和25年より岩崎交差点より北へ順次、竹ノ山へ、さらには砂子(長久手市)へと開設、延伸、拡幅工事をして道路整備を行い、今の主要地方道57号瀬戸大府東海線となりました。

わずか20年ほど前、この大府街道から西方を見たとき、何の変哲もない尾張丘陵の雑木林がさえぎって新設の愛知淑徳大学学舎(長久手市)を見ることができませんでした。やがて、愛知万博がひらかれ、竹ノ山土地整理組合ができて、ブルドーザーが山肌を削り、同大学が間近に望めたのもつかの間、新しく建った家並みが再び隠してしまいました。まさに竹ノ山地区は大きく変貌したのであり、なおまだつつあるのです。

参考・引用文献

- 『日進村誌』日進村役場 昭和31年
- 『日進町誌本文編』日進町誌編纂委員会 昭和58年
- 『長久手町史』長久手町史編さん委員会 平成15年

菱野幼稚園 だより

HISHINO KINDERGARTEN



「経験は人生を豊かにする」と考えています。幼稚園での日々という日常にちょっとした変化がプラスされると子どもの心が弾み、成長のチャンスが広がります。菱野幼稚園では、いろいろな体験、出会い、連携を通し、優しく強くたくましく人に成長してほしいと願いつつ、様々な取り組みを行っています。

小学生との交流会 11/20

瀬戸市立幡山東小学校四年生38名が幼稚園を訪問してくれました。幼稚園児が楽しめる遊びや活動を自分たちで考えて、年長児と半日過ごしました。子どもたちは、年齢が近いのかすぐに溶け込み楽しんでいるようでした。私たち教職員としては卒園生との再会も嬉しいことでした。

こうした取り組みでお互いを知り、年長児は小学生になることに期待を持ち、小学生も高学年としての自覚を持つことに繋がることでしょうか。交流するとしなやかでは、全く違うと感ずります。ますます幼小の連携が深まることに期待しています。



縦割り保育 11/24~11/27

運動会などの秋の大きな行事を終えたこの時期は、子どもたちがぐっと成長し、クラスとしても落ち着いてきます。そういった充実期に、菱野幼稚園ではクラスの枠を越えて、年少児から年長児までが一緒に活動する縦割り保育週間を設けています。

この週、子どもたちは、予め準備している5種類の楽しい企画(粘土木工・クラフト・戸外遊び・料理・作って遊ぶ)から毎日やりたいことを自分で選び、そのクラスに行って過ごします。たまたまやりたいことが同じ子どもたちの集合体ですので、いつもと違う友だち、いつもと違う先生と過ごすことになるのです。

そんなドキドキワクワクを体験して、子どもたちはますます成長します。自ずと異年齢クラスに編成されますので、そういう環境下で年上の子に優しくしてもらったり、年下の子の気持ちになったりと、思いやりの心や助け合いの気持ちが芽生えます。また、小さい子が年上の子どもに対して、自分もこうなりたいというあこがれの姿を認識できる経験にもなります。いつもと違う環境は精神的にも強くしてくれます。楽しいだけではなく中身の濃い一週間となりました。



高校生が来園(奉仕活動) 12/8.9

瀬戸市内にある聖カピタニオ女子高等学校の生徒さん10名が、奉仕活動のため菱野幼稚園で二日間を過ごしました。奉仕活動ということで、大学生の教育実習とは少し違うスタンスで触れあうこととなりました。子どもたちはお姉さんたちと一緒に過ごしたことをとても喜んでいましたが、高校生の皆さんは、もしかすると、子どもたち以上にこの二日間の関わりに心を動かしてくれていたかもしれません。

クラスでのお手伝いや保育室や園庭の清掃など熱心に行っていたことに感謝しています。両者にとってプラスの出会いとなりました。



避難訓練・消防車見学 12/9

「幼稚園に消防車が来た!」園庭に入ってきた消防車に目を輝かせる子どもたちです。

この日は、火災発生を想定した避難訓練と消防車見学を行いました。避難訓練は、自分の命を守る大切なことと改めて確認することができました。幼くとも真剣に取り組むことの大切さを教えたいと思っています。

消防署の方々のご指導を受け、今後もしっかりと行っていききたいことのひとつです。



クリスマス会 12/11

今年も名古屋製菓専門学校の先生と学生の皆さんがクリスマスケーキを持って来てくださいました。こうして毎年クリスマスケーキをプレゼントしていただけて、しかもそのケーキがとびきり美味しいとなれば、こんな幸せな幼稚園は滅多にないことでしょうか。菱野幼稚園の園児は本当に特別です。

今年も美味しく嬉しい気分を味わった私たちは、名古屋製菓専門学校の皆さんが菱野幼稚園にとってのサンタクロースだということ強く感じています。



特別企画(その2) 親子そろってひしの育ちです!

創立70周年を迎えた中西学園にあって、菱野幼稚園は開園43年目を迎えています。

卒園した子どもの人数は、約4,700名。親子二世帯、菱野幼稚園に通ってくださる方々も大勢いらっしゃいます。そこで、前回の「ひしの育ち」の2名の教員に続き、親子二世帯ひしの育ちの方々の内、現在も幼稚園が位置する萩山台にお住まいの6組の皆様をご紹介します。

こんな質問をしました。

1. 何組でしたか?
2. 幼稚園では、どんな遊びが好きでしたか?
3. 幼稚園の頃、大きくならんたら何になりたいと思っていましたか?
4. 菱野幼稚園での「いちばんの思い出」は?

親	子	親	子
上田さん親子 1 年中：うめ組 年長：きく組 2 なわとび 3 おかあさん 4 毎日泣きながら通園したこと	年少：ふじ組 年中：ひまわり組 年長：きく組 なわとび ケーキ屋さん 友だちとケンカしたこと	鬼頭さん親子 1 年少：もも組 年中：すみれ組 年長：あやめ組 2 キックスケーター 3 警察官 4 逆上がりができるようになったこと	年少：もも組 年中：ばら組 年長：かな組 のぼり棒 ケーキ屋さん 運動会
平下さん親子 1 年中：うめ組 年長：かな組 2 ジャングルジム 3 警察官 4 移動動物園でうさぎを抱っこしたこと	年少：もも組 年中：すみれ組 ジャングルジム 野球選手 うんていができたこと	天野さん親子 1 年少：さくら組 年中：うめ組 年長：あやめ組 2 なわとび 鬼ごっこ 3 たしか…お花屋さん 4 お遊戯会のときにすごく緊張したこと	年少：さくら組 年少：さくら組 みんなで鬼ごっこすること 鬼ごっこの鬼年長組さん(あじさい組)ライオンのえさ(をやる人?) みんなでやる鬼ごっこ

親	子	親	子
渡邊さん親子 1 年少：ちゅーりっぷ組 ※以前はちゅーりっぷ組がありました。 年中：ばら組 年長：かな組 2 つり輪あそび 3 ピアノの先生 4 お買い物ごっこ	年少：ふじ組 年中：すみれ組 年長：あやめ組 のぼり棒 妖精 お絵かき教室	藤田さん親子 1 年長：きく組 2 粘土あそび 3 パイロット 4 入園式の日、雨が降って降っていました。白い靴下で登園したのですが、着いてすぐに幼稚園の中にあっただぶにジャンプしてドロドロになってしまったこと	年少：ふじ組 年中：うめ組 年長：あじさい組 ドロケイ 探検家 山登りをする人 遠足でモリコロパークへ行ったこと

菱野幼稚園での体験が、いつの時代も豊かな心を育てていることを願います。

マスコミで見る学園各校の 出来事

2015年6月1日 ▶▶ 2016年1月31日

日付・媒体	所属	記事内容等
6月2日 毎日新聞	外大	安保法案審議についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
6月4日・5日 The Japan Times	外大	中国でのドラえもん映画上映について ＜外国語学部 川村範行教授＞
6月5日・7日 中日新聞・毎日新聞	学芸大	三重県熊野市と観光振興に関するデザイン協定締結 ＜井形昭弘学長＞
6月6日 中日新聞	学芸大	公開講座「観光のユニバーサルデザイン」告知 ＜メディア造形研究科 川原啓嗣教授＞
6月6日 中日新聞	外大	三重県志摩市のサミット決定についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
6月8日 中日新聞	外大	「ロシア文化の運命」講演 ＜亀山郁夫学長＞
6月9日 中日新聞	学芸大	「復興支援インターンに参加」 ＜管理栄養学科3年 武田さやかさん＞
6月10日 文藝界7月号	外大	高村薫著「太陽を曳く馬」書評 ＜亀山郁夫学長＞
6月11日・12日 中日新聞・毎日新聞	学芸大	スクリーンプリント写真展「彼女たちの行方」告知 ＜映像メディア学科＞
6月13日・24日 中日新聞	外大	「学長翻訳 名著を朗読」ワールドリベラルアーツセンター (WLAC) 発定記念イベント開催 ＜亀山郁夫学長＞
6月14日 中日新聞	外大	留学生 保育園と交流 ＜日本語教育センター＞
6月17日 国際ジャーナル6月号	外大	「「足で稼ぐ」日本の強み」中東支援インタビュー ＜国際教養学科 佐藤都喜子教授＞
6月21日 朝日新聞	学芸大	「+C でら日本一 東海」健康寿命についてコメント ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
6月21日 毎日新聞	外大	訳本「アメリカ大陸のナチ文学」書評 ＜世界教養学科 野谷文昭教授＞
6月22日 10月25日 中日新聞	学芸大	「高校ファッションデザインコンテスト2015」開催 ＜ファッション造形学科＞
6月23日・26日 中日新聞	学芸大	「なごや VISION 展」開催 ＜デザイン学科＞
6月24日 中日新聞	学芸大	「食育推進 国から表彰」サークル「Canteen」が食育 推進ボランティア表彰を受ける ＜管理栄養学科 塚原丘美教授、Canteen＞
6月24日 7月3日 中京テレビ	学芸大	「キャッチ！」「はやりば」で「アベンジャーズ エイジ オブ・ウルトロン」のプロモーション協力 ＜デザイン学科＞
6月28日 東海テレビ	外大	「スタイルプラス」「外国人が見たナゴヤ」で留学生へ インタビュー ＜日本語教育センター＞
6月28日 東海テレビ	学芸大	「新報道2001」健康寿命について ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
7月3日 中日新聞	学芸大	「大名古屋電脳博覧会」出展 ＜映像メディア学科4年 高須友佳さん＞
7月3日 中日新聞	学芸大	「大島誠とFunMobileClubExhibition」告知 ＜デザイン学科 大島誠教授、学生＞
7月4日 中日新聞	外大	日進市長選についてコメント ＜英米語学科3年 有安七実さん 英語教育学科3年 藤武弘さん 国際教養学科2年 日笠まり絵さん＞
7月6日 中日新聞 (夕刊)	外大	「街角新風-暑さ対策」 ＜日本語学科1年 川崎麗奈さん＞
7月10日 中日新聞	学芸大	「笑顔！」プチヴェール社のラベルデザイン ＜デザイン学科4年 高橋里奈さん＞
7月11日 中日新聞	外大	外務省課長が講義
7月12日 中京テレビ	学芸大	「所さんの目がテン！」徳島の長寿の秘密 ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
7月16日 中日新聞	外大	「伊勢志摩サミット-アジアへ視線 期待」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞

日付・媒体	所属	記事内容等
7月16日 中日新聞 (知多版)	外大	「地域 元気にするには」東海市で講演会 ＜国際教養学科 横山陽二准教授＞
7月17日・19日 中日新聞	学芸大	三重県菟野町と地域振興に関する包括連携協定締結 ＜井形昭弘学長＞
7月18日 9月1日 PRO SOUND8月号 Sound & Recording9月号	学芸大	音響スタジオ紹介 ＜映像メディア学科 佐近田展康教授、森幸長講師、 鈴木悦久講師＞
7月25日 10月30日 中日新聞	外大	中国語スピーチコンテスト開催 ＜中国語学科＞
7月26日 中日新聞	外大	「なるほどランド」伊勢志摩サミット解説 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
7月31日 中京テレビ	学芸大	「キャッチ！」夏の食欲減退対策について ＜管理栄養学科 塚原丘美教授＞
8月1日 中京テレビ	外大	留学生がバースデーケーキについて取材協力 ＜日本語教育センター＞
8月3日 中日新聞 (夕刊)	外大	「タガログ語児童が増加」についてコメント ＜現代英語学科 津田守教授＞
8月4日 CanCam9月号	外大	読者モデルとして紹介 ＜現代英語学科4年 石倉侑芽さん＞
8月6日 中日新聞	外大	日本航空・ANA 総合研究所・ドリームスカイ名古屋と 人材育成連携協定 ＜亀山郁夫学長＞
8月10日 中日新聞	外大	「18歳以上に選挙権」についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
8月12日 中日新聞	学芸大	「温暖化テーマのポスター展」出展 ＜デザイン学科4年 小田原有伽さん＞
8月14日 名古屋テレビ	外大	「ドデスカ！」終戦記念特集-授業風景 ＜内田忠男客員教授＞
8月15日 中日ホームニュース	外大 学芸大	「どまつり」で魅せます！！ ＜よさこいソーランサークル「凰」＞
8月15日 Between8-9月号	外大	「私の改革論 No.9」 ＜亀山郁夫学長＞
8月18日 中日新聞	外大	「安倍首相談話」についてコメント ＜外国語学部 川村範行教授＞
8月20日 中日新聞	学芸大	「竹の山ふれあい夏祭り 学生が協力」 ＜管理栄養学科1年 浅井映希さん＞
8月27日 朝日新聞	外大	「日比 ふたつのルーツ」残留2世についてコメント ＜現代英語学科 津田守教授＞
8月29日 中日新聞	学芸大	「反射材ファッションショー」開催 ＜ファッション造形学科4年 向城美晴さん 2年 向城美翔さん＞
8月29日 中日新聞	学芸大	「水谷誠孝洋画展」開催 ＜子どもケア学科 水谷誠孝講師＞
8月29日 中日新聞	製菓校	「亡き母導くパティシエ」技能五輪銅賞受賞 ＜製菓専門学校 伊藤美緒さん＞
8月30日 中日新聞	外大	留学生を対象に安全対策講座 ＜国際交流課＞
9月2日 中日新聞	学芸大	「五輪 またつまく」エンブレム撤回にコメント ＜CS センター 森本健参与＞
9月14日 Science Portal China	外大	「日中の教育最前線」寄稿 ＜外国語学部 川村範行教授＞
9月17日・29日 10月17日・18日・25日 11月1日 中日新聞・東海テレビ テレビ愛知・NHK・ 日中文化交流協会会報	外大	国際シンポジウム「日中大学生討論会」
9月20日 The Japan Times	外大	安保法案による日中関係の影響についてコメント ＜外国語学部 川村範行教授＞
9月22日 テレビ愛知	学芸大	「チャレンジTV」 ＜映像メディア学科＞

日付・媒体	所属	記事内容等
9月25日 中日新聞	外大 学芸大	「EX LIBRIS ~紙の宝石 蔵書票の世界~」展告知 ＜中央図書館＞
9月26日 産経新聞	外大	「地域プロデュース演習」紹介 ＜国際教養学科 横山陽二准教授、 現代英語学科4年 石倉侑芽さん＞
10月1日 中日新聞	外大	学術講演会「現代のアイランド-詩と音楽-」告知 ＜WLAC・英米語学科＞
10月7日 NHK BS	外大	「ザ・プロファイラー #1スターリン」 ＜亀山郁夫学長＞
10月9日 中日新聞	外大	「一億総活躍社会」についてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
10月10日 中日新聞	学芸大	「宮城産の魚で介護食」 ＜管理栄養学科 塚原丘美教授、 2年 神村美帆さん、河野呼春さん＞
10月13日 中京テレビ	学芸大	「キャッチ！」保護者インタビュー ＜子どもケアセンター＞
10月14日 中日新聞	外大	講演会「生命力の移動~ボードレールと分人主義」告知 ＜WLAC・フランス語学科＞
10月14日 中日新聞 (知多版)	外大	「元気な地域はこうして創る」東海市で講演会 ＜国際教養学科 横山陽二准教授、ゼミ生＞
10月16日 中日新聞	学芸大	制作映画「プラネタリアムと冬の月」上映 ＜映像メディア学科 柿沼岳志講師、学生＞
10月17日 中日新聞	外大	教育講演会「モンゴルへの発達障害児支援から学ぶ 日本の特別支援教育の課題」告知 ＜英語教育学科＞
10月21日 中日新聞	学芸大	「「反射材」使い服デザイン」県警が感謝状 ＜ファッション造形学科 安藤文子学科長＞
10月24日 中日新聞	学芸大	「名学芸大生にグッドデザイン賞」デンソーとの共同企画 ＜デザイン学科 梶田渉教授、学生＞
10月27日 中日新聞	学芸大	「名古屋看護助産学校 名学芸大に移行へ」 看護学部新設目指す
10月28日 中日新聞	学芸大	「私の先生」中学時代の恩師紹介 ＜客員教授 ドン小西氏＞
10月30日 The Japan Times	外大	東アジアサミットについてコメント ＜外国語学部 川村範行教授＞
10月31日 12月12日 中日新聞	学芸大	映画プロジェクト作品「唇はどこ？」上映 ＜映像メディア学科＞
10月31日 中日新聞	外大	講演会・特別対談「小説のジャンル~純文学とミステリ」 告知 ＜WLAC・フランス語学科＞
11月1日 読売新聞	外大	「東京外国語大学読売講座」沼野恭子教授と「文学と食」 について対談 ＜亀山郁夫学長＞
11月6日・29日 中日新聞	外大	「菰野町 PR 映像コンテスト」 ＜国際教養学科 横山陽二准教授、ゼミ生＞
11月9日 名古屋テレビ	外大	「哲人の告白」 ＜亀山郁夫学長＞
11月10日・22日 12月6日・17日 読売新聞・北海道新聞・ 中日新聞・産経新聞・ 朝日新聞	外大	著書「新カラマーソフの兄弟」紹介 ＜亀山郁夫学長＞
11月10日 東海テレビ	外大	「みんなのニュース ONE」サミットについて解説 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
11月11日・ 12月18日 中日新聞・東海テレビ	学芸大	「東海テレビ文化賞」顕彰 ＜井形昭弘学長＞
11月13日 中日新聞	学芸大	「水面に浮かぶ映像のアート」中川運河演出 ＜映像メディア学科 伏木啓講師＞
11月15日 映画撮影No.207	学芸大	撮影監督映画「嫌な女」についてコメント ＜映像メディア学科 渡部眞教授＞
11月17日 名古屋テレビ	外大	「ドデスカ！」フランステロ事件について ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞

日付・媒体	所属	記事内容等
11月17日・29日 中日新聞	外大	「全国外大連合連携事業学生通訳コンテスト」開催 ＜現代英語学科4年 桜本亜沙美さん＞
11月18日 CBC	外大	「やすだの歩き方」 ＜エアライン業界研究グループ＞
11月24日 SINRA 1月号	外大	「『徒然草』に学ぶ吉田兼好の自然観察眼」 ＜日本語学科 蔵田敏明教授＞
11月26日 中日新聞	学芸大	名古屋商工会議と産学連携協定締結 ＜井形昭弘学長＞
11月29日 中京テレビ	学芸大	「所さんの目がテン！」長寿の秘密 ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
11月29日・30日 12月21日 2016年1月3日・ 17日 毎日新聞・週刊現代・ 日本経済新聞・朝日新聞	外大	著書「新カラマーソフの兄弟」書評 ＜亀山郁夫学長＞
12月1日 中日新聞	学芸大	「にっしんまるごとカレー選手権」企画 (にっしん市民活動祭) ＜管理栄養学科3年 高見華子さん・鈴木りささん＞
12月1日・15日・17日 中日新聞・朝日新聞	学芸大	特殊詐欺防止のための啓発用ポスターデザイン最優秀賞 ＜ファッション造形学科3年 太田明子さん＞
12月2日 中日新聞・読売新聞	学芸大	名古屋医療センターと名古屋看護助産学校の運営に 関する協定締結
12月5日 中日新聞 (夕刊)	外大	著書「サミットがわかれば世界が読める」紹介 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
12月6日 2016年1月13日 中日新聞・教育芸術新聞	法人	「中西学園70周年記念式典」開催
12月14日 フジテレビ	外大	「めざましテレビ」地域広報についてコメント ＜国際教養学科 横山陽二准教授＞
12月17日 週刊新潮	外大	「私の週間食卓日記」寄稿 ＜亀山郁夫学長＞
12月17日・23日 中日新聞	外大	「名古屋外国語大学出版会設立記念フェア」開催 ＜名古屋外国語大学出版会＞
12月19日 フジテレビ	学芸大	「すぼると！」駅伝部の食事支援活動紹介 ＜管理栄養学科 田村明教授、ゼミ生＞
12月20日 毎日新聞	学芸大	写真展「戦争を見つめた目」開催 ＜映像メディア学科3年 森本瑞生さん＞
12月25日 朝日新聞	外大	政治学者 白井聡氏とロシアについての対談 ＜亀山郁夫学長＞
2016年1月1日 読売中高生新聞	外大	「サミット-日本文化発信のチャンス」 ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
1月1日 日赤あいち	外大	シリア赤新月社ボランティアがシリアの現状を講演 ＜WLAC＞
1月2日 The Japan Times	外大	サミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
1月3日 CBC	学芸大	「健康カプセル！ケンキの時間」愛知の食習慣と健康寿命 ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
1月7日・14日 中日新聞	外大	WLAC主催講演会「中東激動と日本の関わり-シリア難民 と「イスラム国」の行方」 ＜WLAC＞
1月8日 読売新聞	外大	ジュニアサミットについてコメント ＜国際教養学科 高瀬淳一教授＞
1月16日 中日ホームニュース	外大	「ハローお嬢さん」 ＜留学生 ステイシー カウーヤさん＞
1月19日 中日新聞	学芸大	「隠れメタボ 試算900万人」隠れメタボ対策に有効な 生活習慣紹介 ＜健康・栄養研究所 下方浩史教授＞
1月21日 中日新聞	外大	「留学へ出発の学生にエール」留学社行会 ＜亀山郁夫学長＞
1月24日・26日 中日新聞・読売新聞	学芸大	「集大成 華やかに」卒業制作発表会 ファッションショー ＜ファッション造形学科＞

*この他にも学園各校は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌をはじめとする多数のメディアで取り上げられています。

名古屋学芸大学における看護学部（仮称） 設置構想と国立名古屋医療センターとの提携

名古屋学芸大学では、開設以来、実学を重視し、管理栄養士、養護教諭、幼稚園教諭、保育士等といった免許・資格の取得と、それらを職業に生かした人材の輩出に大きな実績を残すとともに、地域社会に貢献してきました。

今回その特性を更に推進、充実させることを目的に、国立名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校(3年制)の大学学部化(4年制)公募に応募し、採択されたことを受けて、これまでの名古屋看護助産学校の伝統と実績に、学園が70年間培ってきた「人間教育と実学」の理念を付加して、より高度で実践的な看護師養成に向け、第4の学部として、平成30年(2018年)4月、看護学部(仮称)を設置する計画です。

また、今回の看護学部(仮称)は同一法人内に設置される名古屋外国語大学とも連携しつつ、グローバルに活躍できる国際的な看護師の育成も大きな特色となります。

他方、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターでは、これまで附属看護助産学校において看護師、助産師の養成をしてきましたが、近年、高校生の大学志向が高く、受験生の中の大学併願者も多くなっています。そこで現状の土地・建物を使い、看護大学を誘致する方針を決定し、「独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター敷地内の土地・建物を活用し看護大学及び看護大学院を設置・運営事業」の事業者を公募型企画競争により募った結果、名古屋学芸大学をその事業実施法人として決定しました。

今後、両者は看護学部(仮称)設置に向けての文部科学省への学部認可申請等の準備を円滑に進めるとともに、質の高い看護教育の充実、発展とこれに関わる人材の育成に寄与することを目的として、看護学部設立・運営に関する連携協定を締結しました。

名古屋外国語大学世界共生学部設置について

平成26年(2014年)7月、名古屋外国語大学は5年間のアクションプランである「名古屋外国語大学国際化推進ビジョン2014」を策定し、現在、大学全体でこれに基づくさらなる研究教育の国際化の推進に取り組んでいます。また同年9月には、平成30年(2018年)の名古屋外国語大学創立30周年に向けた「NUFS Next: global future project」を明示、これに基づき4つの領域、すなわち「中部地区をリードする高等教育拠点としての体制の確立」、「キャンパスグローバル化及び豊かなキャンパスライフのための環境整備」、「国内外の大学・種々の機関との連携及び地域社会への貢献」、「中部地区唯一の外国語大学としての機能強化及びガバナンスの確立」において、様々な改革を進めています。そのうち高等教育拠点としての体制の充実については、「次世代グローバル人材育成のための学部再編と効率的かつ高度なカリキュラムの構築」を掲げ、「20年後の将来を見据えた全学的なカリキュラム改革とそれに伴う学部・学科の再編」を進めるとしています。

再編計画を進める中、名古屋外国語大学において網羅性の点で不十分さが見られた世界各地に関する研究体制の充実の必要性、ならびに多文化共生時代を見据えた新たな学問研究と教育手法の開発の必要性の二点が強く認識されるに至りました。こうして、既存の外国語学部と現代国際学部の一部の学科を元に、新学部・新学科として「世界共生学部・世界共生学科」(入学定員は100名)を平成29年(2017年)4月に

創設することを決定したところです。

この「世界共生学部・世界共生学科」は、言語的・文化的に様々な背景を持つ人々の共生が随所に、かつ顕著に見られるようになった日本社会の現状、さらには海外へと勇躍する日本人・日本企業の地域の多様化を踏まえ、卓越した言語能力に加えて、多文化共生の精神に深く通じつつ、現代社会に生起する諸課題を解決しうる高い能力を持った新たなグローバル型人材を養成するために構想されました。

既存2学部、すなわち専攻語学の修得とその言語圏の文化・社会の理解を主たる目的とする「外国語学部」、ならびにグローバル化時代を見据えたキャリア教育を重視する「現代国際学部」とは、教育内容・教育手法が異なる新たな学部となります。すなわち、教育内容においては、英語と複言語の習得に加え、世界の「リージョン(地域生活圏)」に関する研究を徹底的に行うことを主眼とし、さらには「多文化共生時代」への対応という視座をもって人間、文化、社会への理解を深めることを企図して、教育課程や教員組織を編成します。一方、教育手法においては、海外・国内での多くの体験学習を含む徹底した「アクティブラーニング(能動的学修)」を徹底して実施します。名古屋外国語大学では、こうした基本認識のもと、学内機関での検討・審議を重ねた結果、教育課程を新たに構築できる「新学部」の設置が適切であるとの結論に達したところです。

学校法人 中西学園 70年の歩み

1945年(昭和20年)12月1日	すみれ洋裁学院を創立
1951年(昭和26年)3月8日	私立学校法第64条第4項に基づく「学校法人中西学園」(愛知県)となる
1963年(昭和38年)1月21日	学校法人中西学園(文部省)となる
4月1日	すみれ女子短期大学開学(服装科)
1964年(昭和39年)4月1日	すみれ女子短期大学家政科開設
1966年(昭和41年)4月1日	すみれ女子短期大学家政科に専攻科設置
1969年(昭和44年)4月1日	すみれ女子短期大学家政科を家政学科に、服装科を服装学科に名称変更
1973年(昭和48年)4月1日	瀬戸市萩山台に菱野幼稚園開園



1945年(昭和20年)
名古屋市昭和区戸田町に「すみれ洋裁学院」を創立



1947年(昭和22年)頃
徳川義親先生を囲む創設時の中心教員
(前列右が創設者の中西泉学院長、後列左から中西富美子先生、長谷川多津恵副学院長、高尾澄江先生)



1947年(昭和22年)
新聞に掲載された学生募集の広告



1952年(昭和27年)
校名の由来となった貞明皇后の御歌を記した校訓碑建立



1963年(昭和38年)
すみれ女子短期大学開学(第1回入学式で挨拶する中西泉初代学長)



1973年(昭和48年)
菱野幼稚園開園



第1回入園式クラス写真

学校法人 中西学園 70年の歩み

- 1977年（昭和52年）4月 1日 「すみれ女子短期大学」を「愛知女子短期大学」に名称変更
- 1981年（昭和56年）7月31日 愛知女子短期大学日進学舎竣工
8月 1日 愛知女子短期大学 愛知県愛知郡日進町大字岩崎字竹ノ山57番地に移転
- 1982年（昭和57年）4月 1日 「すみれ洋裁学院」を専修学校に移行 名称を「名古屋ファッション専門学校」に変更。同時に「名古屋総合ビジネス専門学校」「名古屋栄養専門学校」「名古屋総合デザイン専門学校」の3校開校
- 1983年（昭和58年）4月 1日 愛知女子短期大学人文学科及び経営学科開設。同時に「名古屋建築設備専門学校」開校
- 1988年（昭和63年）4月 1日 名古屋外国語大学開学（外国語学部英米語学科・フランス語学科・中国語学科）
8月26日 法人事務所所在地を「愛知郡日進町大字岩崎字竹ノ山57番地」に変更

- 1991年（平成 3年）4月 1日 愛知女子短期大学人文学科英語英文学専攻を人文学科英米語専攻に、家政学科家政学専攻を生活科学科生活科学専攻に、家政学科食物栄養学専攻を生活科学科食物栄養学専攻にそれぞれ名称変更
- 1994年（平成 6年）4月 1日 名古屋外国語大学国際経営学部開設
- 1995年（平成 7年）4月 1日 愛知女子短期大学経営学科経営専攻の廃止
- 1996年（平成 8年）4月 1日 名古屋外国語大学外国語学部英米語学科編入学定員設置
- 1997年（平成 9年）4月 1日 名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科開設 愛知女子短期大学服装学科を生活造形学科に、服装学科服装学専攻を生活造形学科服飾造形専攻に、人文学科国語国文学専攻を人文学科日本語日本文学専攻に、経営学科情報専攻を経営学科経営情報専攻にそれぞれ名称変更
- 1998年（平成10年）4月 1日 名古屋製菓専門学校設置及び名古屋建築設備専門学校を名古屋建築土木専門学校に名称変更
- 1999年（平成11年）4月 1日 名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科博士課程（後期）設置及び、修士課程を博士課程（前期）に組織変更 名古屋外国語大学外国語学部日本語学科設置
- 2000年（平成12年）4月 1日 愛知女子短期大学人文学科を言語コミュニケーション学科に、人文学科日本語日本文学専攻を言語コミュニケーション学科日本語専攻にそれぞれ名称変更 名古屋総合ビジネス専門学校廃止
- 2001年（平成13年）4月 1日 名古屋外国語大学留学生別科設置 愛知女子短期大学経営学科をビジネス情報学科に、経営学科経営情報専攻及び秘書専攻をビジネス情報学科ビジネス情報専攻及びビジネス実務専攻にそれぞれ名称変更 人文学科文化史専攻廃止
- 2002年（平成14年）4月 1日 名古屋学芸大学設置 愛知女子短期大学の専攻区分を廃止し、学科-コースへ組織変更
- 2003年（平成15年）4月 1日 名古屋建築土木専門学校を名古屋環境建設専門学校に名称変更
- 2004年（平成16年）4月 1日 名古屋外国語大学現代国際学部設置 愛知女子短期大学を名古屋学芸大学短期大学部に名称変更
- 2005年（平成17年）4月 1日 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部設置
- 2006年（平成18年）4月 1日 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科及びメディア造形研究科設置 名古屋学芸大学短期大学部生活造形学科廃止
- 2007年（平成19年）4月 1日 名古屋学芸大学短期大学部現代総合学科設置 名古屋環境建設専門学校を専門学校NSC デザイン工科カレッジに名称変更
- 2008年（平成20年）4月 1日 名古屋外国語大学外国語学部英語教育学科設置 名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科博士課程（後期）設置及び、修士課程を博士課程（前期）に組織変更 名古屋学芸大学短期大学部言語コミュニケーション学科及び生活科学科廃止
- 2009年（平成21年）4月 1日 名古屋学芸大学短期大学部ビジネス情報学科及び家政学専攻科廃止 名古屋総合デザイン専門学校再開
- 2010年（平成22年）4月 1日 専門学校NSC デザイン工科カレッジ廃止
- 2011年（平成23年）4月 1日 名古屋学芸大学大学院子どもケア研究科設置
- 2012年（平成24年）4月 1日 名古屋外国語大学国際経営学部国際経営学科廃止
- 2013年（平成25年）4月 1日 名古屋外国語大学現代国際学部国際教養学科設置
- 2015年（平成27年）4月 1日 名古屋外国語大学外国語学部世界教養学科設置



1974年（昭和49年）
中西憲一郎新理事長
就任挨拶文（中西学園創刊号）



愛知女子短期大学校旗



1977年（昭和52年）
すみれ女子短期大学を愛知女子短期大学に
名称変更



1981年（昭和56年）
愛知女子短期大学 日進キャンパスに移転



1982年（昭和57年）
「すみれ洋裁学院」から「名古屋ファッション専門学校」に名称変更。同時に、「名古屋総合ビジネス専門学校」、「名古屋総合デザイン専門学校」、「名古屋栄養専門学校」を開校。この専門学校群をNSCと呼称。



1988年（昭和63年）
名古屋外国語大学開学（第1回入学式で挨拶する中西憲一郎
初代学長）



1994年（平成6年）
学園創立50周年記念式典（挨拶する中西憲一郎理事長）



2002年（平成14年）
名古屋学芸大学開学（第1回入学式で挨拶する井形昭弘学長）

名古屋外国語大学

2期授業終了	2016年	1月25日㊦
学生春期休暇	2016年	1月26日㊦～3月31日㊦
卒業式	2016年	3月22日㊦
新学期ガイダンス（在校生対象）	2016年	3月24日㊦～3月28日㊦
2016年度入学式	2016年	4月1日㊦

名古屋外国語大学大学院

2期授業終了	2016年	1月8日㊦
学生春期休暇	2016年	1月23日㊦～3月31日㊦
修了式	2016年	3月22日㊦
2016年度入学式	2016年	4月1日㊦

名古屋学芸大学・名古屋学芸大学短期大学部

後期授業終了	2016年	1月23日㊦
学位記授与式	2016年	3月21日㊦
2016年度入学式	2016年	4月3日㊦

名古屋学芸大学大学院

後期授業終了	2016年	1月23日㊦
学位記授与式	2016年	3月21日㊦
2016年度入学式	2016年	4月3日㊦

NSC

NSC 合同卒業式	2016年	3月17日㊦
2016年度 NSC 合同入学式	2016年	4月8日㊦

名古屋ファッション専門学校

学生春期休暇	2016年	3月24日㊦～4月7日㊦
--------	-------	--------------

名古屋総合デザイン専門学校

学生春期休暇	2016年	2月24日㊦～4月7日㊦
--------	-------	--------------

名古屋栄養専門学校

学生春期休暇	2016年	3月18日㊦～4月7日㊦
--------	-------	--------------

名古屋製菓専門学校

学生春期休暇	2016年	3月16日㊦～4月7日㊦
--------	-------	--------------

菱野幼稚園

3学期始業式	2016年	1月7日㊦
遊戯会	2016年	2月8日㊦～2月12日㊦
卒園式	2016年	3月17日㊦
修了式	2016年	3月24日㊦
2016年度始業式	2016年	4月6日㊦
2016年度入園式	2016年	4月11日㊦

表紙の言葉

今回の表紙は、名古屋学芸大学メディア造形学部ファッション造形学科2年生の向城美翔さんの作品です。この作品は、『第22回浜松シティファッションコンペ2015』で全国応募総数4,240点のデザイン画から1次審査を通過した30点で行った最終審査会でグランプリを獲得しました。

『綿は王様』をテーマに浜松市の地場産業である綿織物を用い、様々な手法を取り入れて作品として仕上げました。審査員の先生方から特に評価していただいた花の装飾を表紙として選びました。

名古屋学芸大学メディア造形学部ファッション造形学科長
安藤文子

編集後記

学園創立70周年を迎えた今、創設者の中西泉先生の掲げた教育理念「すみれ精神」を反芻したいと思います。学園報創刊号（昭和49年（1974年）11月1日発行）に中西憲一郎先生が第2代理事長就任のご決意の中で次のように書かれています。

「本学園は野に咲くすみれの花の如く、謙虚な中にも時代の変遷におし流されぬ強い一本筋の通った、教養の匂い深く、高度の専門技能に特色ある現代女性の養成」を「すみれ精神」と称されました。今日、この精神を踏まえて本学園は、教育の原点は「個性を生かした人間形成」にあるとの信念に立ち、「人間教育と実学」を建学の精神に掲げるに至りました。この「精神」・「理念」は学園が設置している幼稚園から大学に至るまで、大動脈として脈々と流れています。学園報誌は、学園報からナブレへと名称を変えながら学園発展の記録を40年間刻み続けて本号で区切りの80号となりました。


 学校法人 中西学園

名古屋外国語大学・大学院

〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-74-1111 FAX: 0561-75-1723 <http://www.nufs.ac.jp/>

名古屋学芸大学・大学院

〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-75-7111 FAX: 0561-73-8539 <http://www.nuas.ac.jp/>

名古屋学芸大学短期大学部

〒470-0196 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-75-7111 FAX: 0561-73-8539 <http://www.nuas.ac.jp/>

NSC カレッジ

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目9番6号 <http://www.nsc.ac.jp/>

■名古屋ファッション専門学校

TEL: 052-241-7381
FAX: 052-242-2746

■名古屋総合デザイン専門学校

TEL: 052-261-8944
FAX: 052-243-3976

■名古屋栄養専門学校

TEL: 052-251-7392
FAX: 052-265-0502

■名古屋製菓専門学校

TEL: 052-265-0509
FAX: 052-265-0719

菱野幼稚園

〒489-0886 瀬戸市萩山台七丁目13番1号
TEL: 0561-83-3651 FAX: 0571-83-1913
<http://www.hishino.ed.jp>

■発行所 学校法人中西学園

〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57番地
TEL: 0561-74-1111
<http://www.nakanishi.ac.jp>

■発行者 中西学園報編集委員会